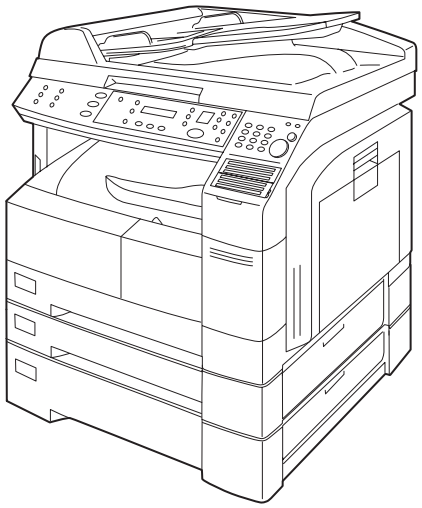
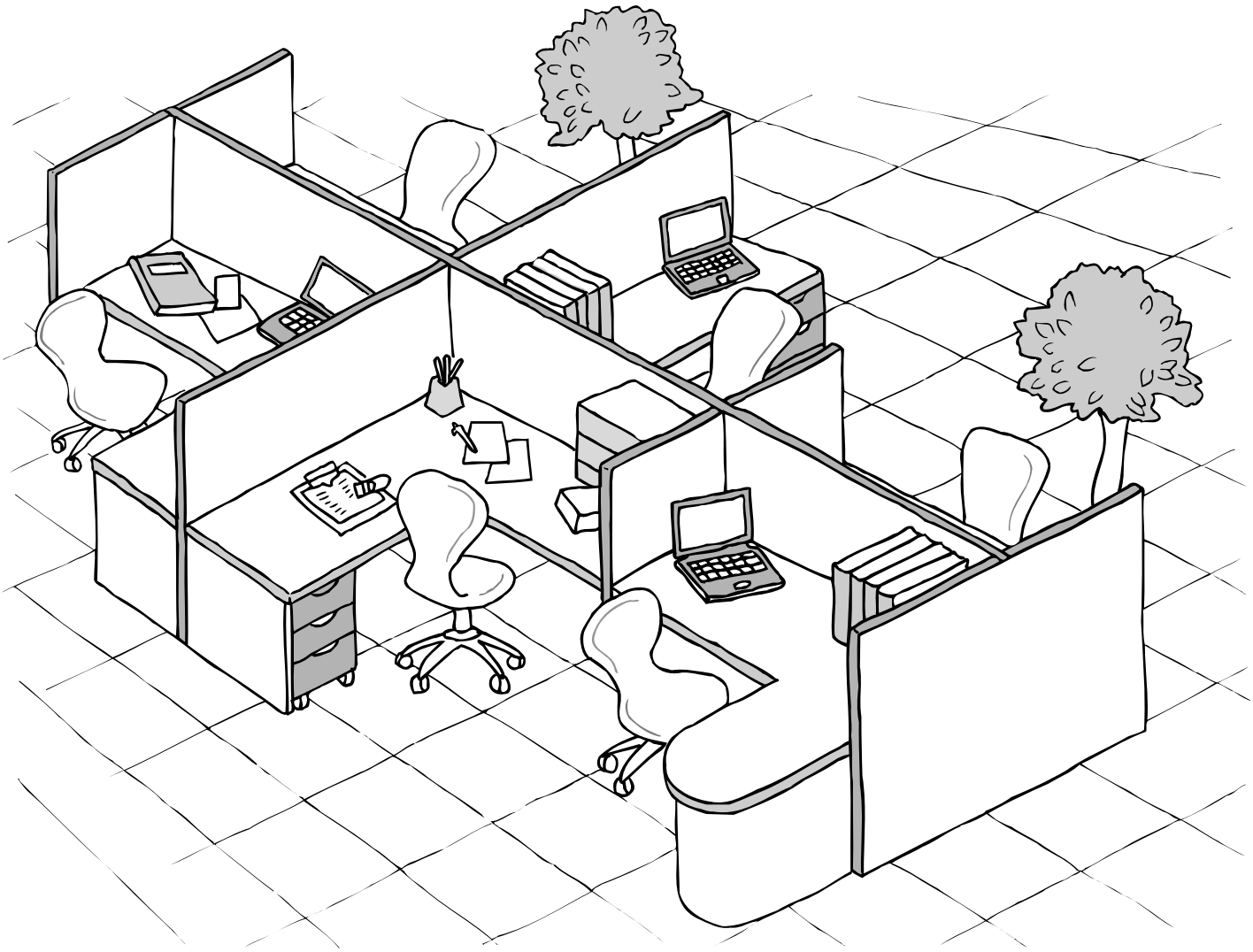


Panasonic

レーザー普通紙ファクシミリ

取扱説明書（コピー編）

品番 UF-A918



WORKIO

このたびはパナソニックレーザー普通紙ファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

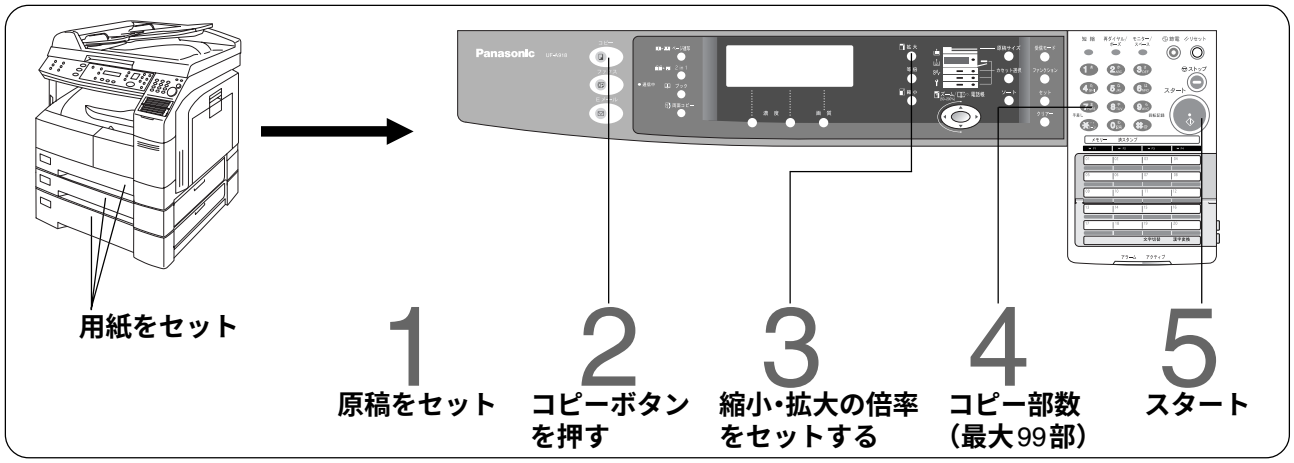
● イラストはオプションを装着した例です。(詳しくは 36 ページを参照してください)

上手に使って上手に節電

操作早見表

よく使う機能と使いかた

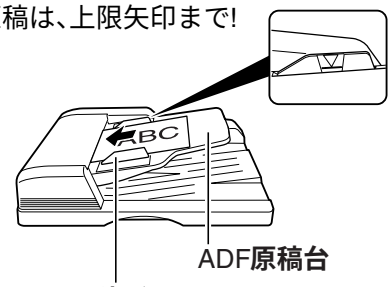
■使いかた



■原稿のおきかた

〈自動原稿送り装置(ADF)〉

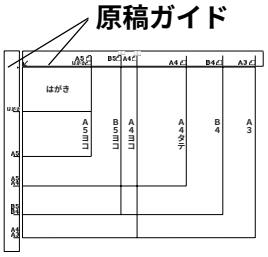
- コピー面を上にしてセットする。
- 原稿は、上限矢印まで!



原稿ガイド
原稿幅に正しく合わせます。

〈原稿台ガラス〉

- コピー面を下向きにして、原稿ガイドに正しく合わせる。
- A5サイズより小さい原稿は、A5サイズの枠内にセットする。



■よく使う機能と操作手順

等倍
原稿と同じサイズでコピー　1→2→4→5　(☞18ページ)

縮小・拡大
縮小・拡大の倍率でコピー　1→2→3→4→5　(☞20ページ)

■メモリー容量について

原稿を読み取っている途中でメモリーがいっぱいになると、「メモリーが一杯になりました」とメッセージが表示されます。画面の表示にしたがって操作してください。
メモリー容量の増設をご希望のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ

■国際エネルギースタープログラムについて

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効果的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

もくじ

操作早見表・もくじ

操作早見表 …… 2
■ よく使う機能と使いかた …… 2
もくじ …… 4

コピーをとる前に

安全上のご注意 …… 6
取扱上のお願い …… 11
■ 用紙・トナーに関するお願い …… 12
各部の名前と働き …… 14
■ コントロールパネル …… 14

コピーのとりかた

基本モード …… 18
■ 等倍コピー（原稿台ガラス） …… 18
■ 等倍コピー（自動原稿送り装置/ADF） …… 19
■ 縮小・拡大コピー …… 20
■ ズームコピー …… 22
■ 手差しコピー …… 23
便利な使いかた …… 24
■ 2 in 1 コピー …… 24
■ 両面コピー …… 25
■ ブックコピー …… 26
■ ページ連写コピー …… 27
■ ソートコピー …… 28
■ 節電 …… 29
機能設定モード …… 30
■ 共通機能 ・キーオペレーター専用 …… 31
■ コピー機能 ・キーオペレーター専用 …… 32
■ 機能設定のしかた（例1）／一般ユーザー …… 33
■ 機能設定のしかた（例2）／キーオペレーター専用 …… 34

オプション

便利なオプション ……36
■ システム構成 ……36

コピーができないとき／異常と思われるとき

コピーができないとき ……37
■ 用紙を補給（**J**） ……37
■ プロセスカートリッジを交換（**?**） ……38
■ 紙づまりを取り出す（**I**） ……40
こんなときには ……46
■ 故障かな？と思ったら ……46
■ 電池の交換 ……48

その他

仕様 ……49
消耗品 ……50
アフターサービスについて ……51
コピー動作組み合わせ ……52

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

● 本体・オプションの取り扱いについて

⚠警告

■定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

- ぬれた手を良くふいて電源プラグ(金属でない部分)を持ってください。

■電源コードを加工しない

火災や感電のおそれがあります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災をおこすおそれがあります。

- 電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機（オプションを含む）を分解・改造しない

分解禁止

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電するおそれがあります。

- この取扱説明書に記載されていないことは行わないでください。

■発煙・異臭などの異常状態をそのまま放置しない

火災や感電のおそれがあります。

- 電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

⚠注意

■床、土台が不安定な場所や震動の激しい場所へは設置しない

本機が倒れて、けがをするおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

ガソリンなどが発火し火災をおこすおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

接地が不十分だったり、落雷などにより、感電したり、火災をおこすおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

調理台や加湿器などのそばに置くと、火災、感電の原因となることがあります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■湿気の多い場所ではアース線を取り付けて使用する

アース線接続

万一、漏電した場合に、火災、感電のおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する

高温注意

高温部分にさわるとやけどするおそれがあります。

●紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っぱらない

コードが傷つき、火災、感電のおそれがあります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグ(金属でない部分)を持ってください。

■動作中の紙づまりはそのまま放置しない

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災をおこすおそれがあります。

●紙づまりは確実に取り除いてください。

⚠注意

■鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをするおそれがあります。

- 万一事故がおきたときは、電源スイッチを切り、サービス実施会社へご連絡ください。

■動作中に光源ランプを直視しない

ランプの光により、目を傷めるおそれがあります。

- やむをえず、原稿台カバーを開けてコピーするときは、光源ランプを直視しないでください。

■本機の通風孔をふさがない

機内に熱がこもり火災の原因となるおそれがあります。

- 本機の回りにダンボール箱などを積み上げないでください。

■機内のみどり色のツマミ以外は操作しない

高温部分や突起のある部品にさわるとやけどやけがをするおそれがあります。

- 内部をさわるときは、十分に注意してください。

■本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをするおそれがあります。

- 本機を台がわりに使用しないでください。

■原稿台ガラスに衝撃を与えたり、重いものを載せたりしない

ガラスが割れてけがをするおそれがあります。

- ガラスが割れたときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてサービス実施会社へご連絡ください。

■エラー（EX-XX*）表示をしたときや、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜く

火災や感電をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

* X は数字が表示されます。確認（メモ）して、サービス実施会社へご連絡ください。

●電池の取り扱いについて

⚠警告

■充電・ショート・分解・変形・加熱・火に入れるなどしない

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■電池は幼児の手の届かないところに保管する

●万一、飲みこんだ場合は直ちに医師に相談してください。

■電池を保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁する

他の金属や電池と混ざると液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■電池の⊕極と⊖極は正しく接続する

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■電池に直接ハンダ付けをしない

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■液が目に入ったら、すぐに洗い流す

目を傷めるおそれがあります。

●こすらずにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠注意

■直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する

液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

取扱上のお願い

設置上のお願い

■ 次の様な場所への設置はさけてください。

- **高・低温、低・多湿な場所**
  （適用温度・湿度：10～30˚C、30～80 %）
- **温度変化の激しい場所**
- **冷・暖房機の近く**（直接風のあたる所）
- **加湿機の近く**
- **テレビ、ラジオなど電子機器の近く**
- **直射日光のあたる場所**
- **ほこり、アンモニアガスが発生する場所**
- **シンナー、ガソリンなどの近く**
- **換気の悪い場所**
- **床、土台が不安定な場所、震動の激しい場所**

■ 本機の背面は壁から15 cm以上離してください。

換気についてのお願い

本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。

操作時のお願い

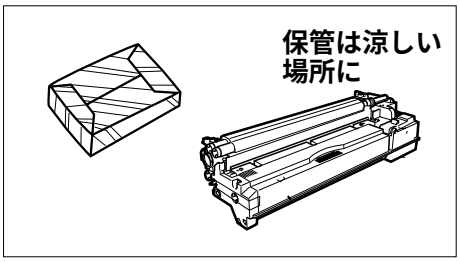
■ コピー中に電源を切ったり、本体カバー等を開けたり、用紙カセットを引き出したりしないでください。
（紙づまりの原因に!）

移動時のお願い

■ 本機の移動や運搬はサービス実施会社におまかせください。

- 転居の際は、サービス引継が必要です。
  （事前にサービス実施会社へご相談ください。）

用紙・トナーに関するお願い



■ 用紙、トナーなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

- 用紙は60～90 g／m²（手差しでは55～130 g／m²）の上質紙・再生紙をお使いになれますが、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。

- トナーは当社指定品をご使用ください。

■ 電波障害防止におけるお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■ 法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。

- **法律でコピーを禁止されているもの**
  - ① 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
  - ② 未使用の郵便切手、官製はがき
  - ③ 政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類
- **注意を要するもの**
  - ① 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
  - ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
- **著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。**

■ 電源高調波についてのお知らせ

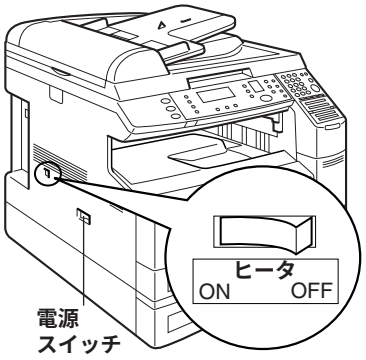
本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

使用上のお願い

■ 除湿ヒーターに関するお願い

(1) 使用方法
- 使用する場合は、ヒーターのスイッチを「ON」にしてください。
- 使用しない時は、ヒーターのスイッチを「OFF」にしてください。

(2) 使用上の注意
- 結露の発生する季節以外は使用しないでください。



■ プロセスカートリッジに関するお願い

● プロセスカートリッジは直接日光を避ける
コピー画像に異常が出ることがあります。

● プロセスカートリッジを寒い場所から暑い場所へ急に移動させない
プロセスカートリッジに結露が発生し、故障の原因となります。

● 使用済みのプロセスカートリッジは捨てない
回収にご協力ください。

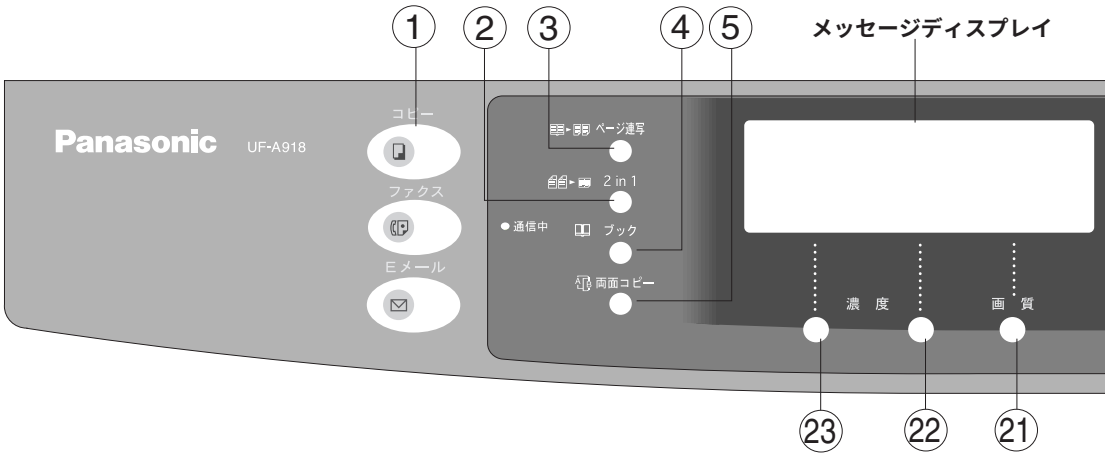
● プロセスカートリッジは上を向けて保存する（箱に上向きの表示があります。）
コピー画像に異常が出ることがあります。

(上側)

各部の名前と働き

コントロールパネル

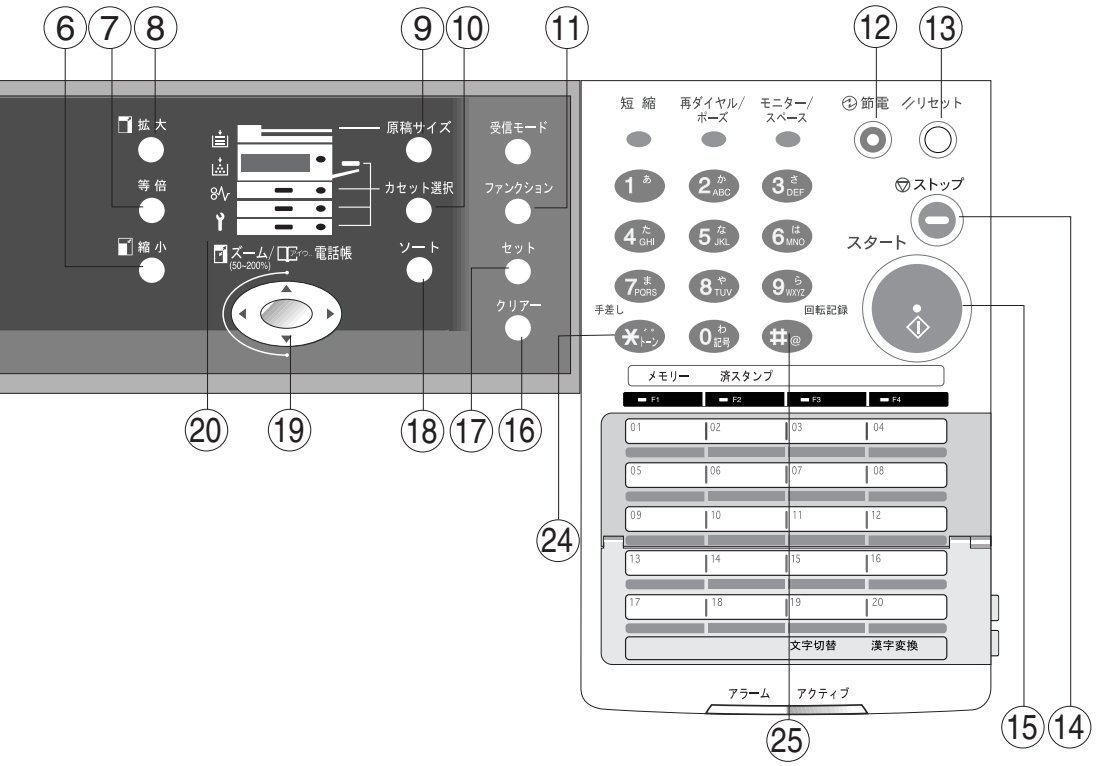
■操作ボタン



No.	内　容	参照ページ
①	**コピー** ● コピー機として使用するときに押します。	18～28
②	**2 in 1** ● 2枚の片面原稿を1枚の片面コピーにするときに押します。	24
③	**ページ連写** ● 左右の見開きのページを左と右にわけてコピーするときに押します。（原稿サイズがA3, B4, A4のとき）	27
④	**ブック** ● 左右の見開きのページをコピーするとき中央部の影を白く抜きます。	26
⑤	**両面コピー** ● 2枚の片面原稿を1枚の両面にコピーにするときに押します。	25
⑥	**縮小** ● コピー倍率を小さくするときに押します。	20
⑦	**等倍** ● 原稿と同じサイズでコピーするときに押します。	18
⑧	**拡大** ● コピー倍率を大きくするときに押します。	20
⑨	**原稿サイズ** ● セットした原稿の読取りサイズを変更するときに押します。	18
⑩	**カセット選択** ● コピーする用紙を選択するときに押します。	20
⑪	**ファンクション** ● 機能や項目を選択するとき、または各種登録/設定を行うときに押します。	31～35
⑫	**節電** ● 節電モードの[スリープモード]をオン/オフするときに押します。	29
⑬	**リセット** ● コピー時、設定内容をクリアーしてコピー待機状態に戻すときに押します。	―
⑭	**ストップ** ● 通信、コピー、各種操作を中止するときや、アラーム音を止めるときに押します。	―
⑮	**スタート** ● コピーを始めるとき、ファクスの送信や受信を始めるときに押します。	―

お知らせ

● ファクス・スキャナー・プリンターなどの各機能用コントロールパネルについては、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

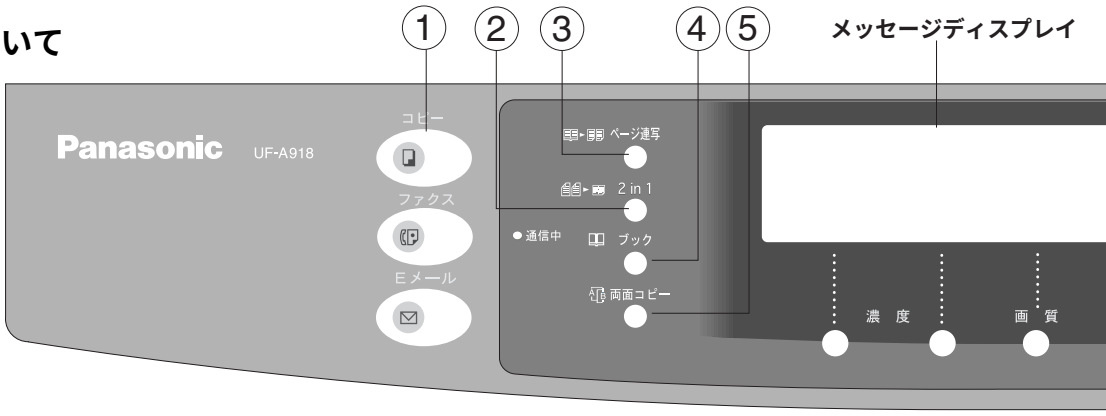


No.	内　容	参照ページ
⑯	**クリアー** ● 入力した文字や数字などを消去するときに押します。	ー
⑰	**セット** ● 各種登録/設定のときなど、確定するときに押します。	ー
⑱	**ソート** ● 自動原稿送り装置(ADF)にセットした原稿をソートしてコピーするときに押します。	28
⑲	**ズーム/カーソル/電話帳** ● メッセージディスプレイのカーソルを移動するときや、項目を選択するときや、電話帳を検索するときに押します。	22
⑳	**原稿づまり・用紙づまり位置表示・補給表示(用紙・トナー)** **装置点検表示・用紙カセット選択**	40～44
㉑	**画質** ● 画質を選ぶときに押します。	18
㉒	**コピー濃度調整(こく)** ● 読取濃度を選ぶときに押します。(濃くしたいとき)	18
㉓	**コピー濃度調整(うすく)** ● 読取濃度を選ぶときに押します。(薄くしたいとき)	18
㉔	**手差し** ● 手差しトレイにセットされている用紙サイズを切り替えるときに押します。	ー
㉕	**回転記録** ● 回転記録をするときに押します。	21
㉖	**テンキー** ● 数字を入力するときに押します。	ー

各部の名前と働き

コントロールパネル

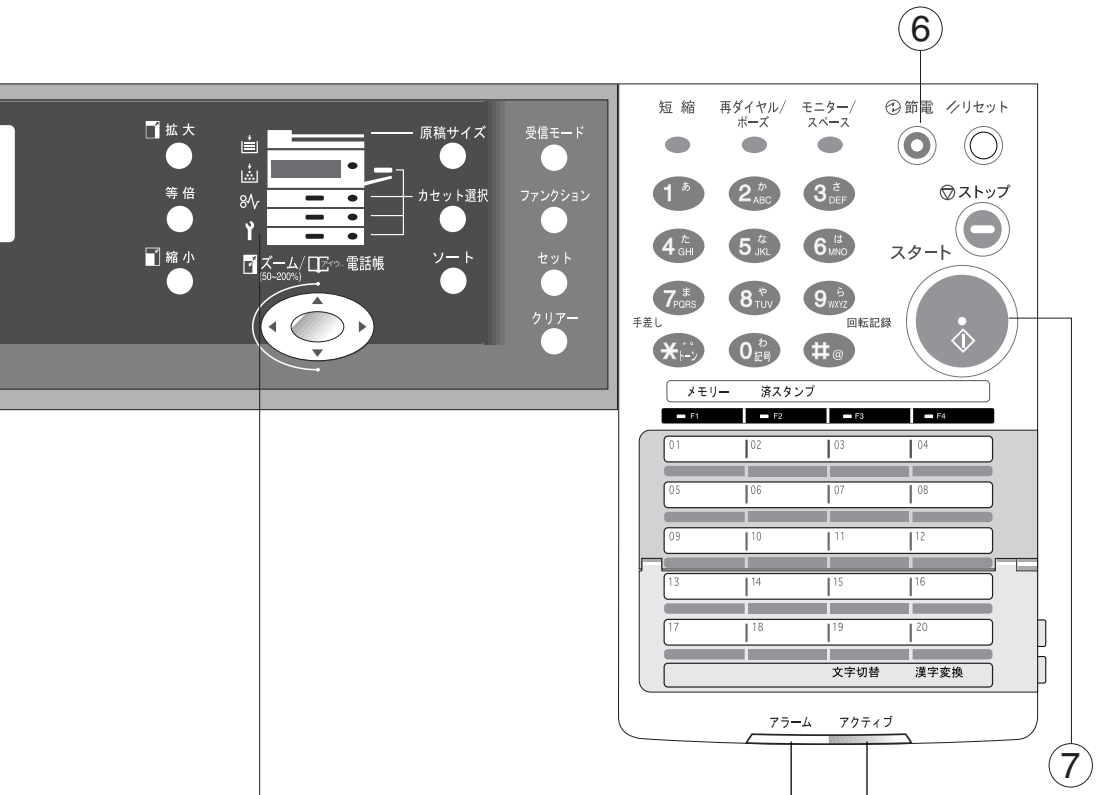
■ ランプの表示について

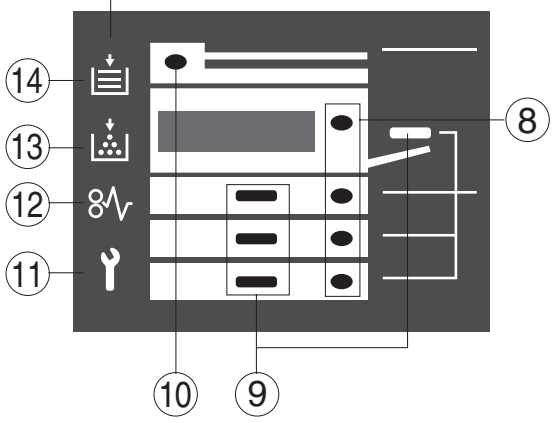


No.	内　容	参照ページ
①	**コピー** ● コピーモードが選択されています。	18～28
②	**2 in 1** ● 2 in 1 が設定されています。(ボタンが点灯します)	24
③	**ページ連写** ● ページ連写が設定されています。(ボタンが点灯します)	27
④	**ブック** ● ブックが設定されています。(ボタンが点灯します)	26
⑤	**両面コピー** ● 両面コピーが設定されています。(ボタンが点灯します)	25
⑥	**節電** ● 点灯:節電モードの「スリープモード」の状態になっています。 点滅:「節電」ボタンが押され、節電モードの「スリープモード」を受け付けた状態になっています。	30
⑦	**スタート** ● 点灯(緑):コピーすることができます。 点滅(赤): コピーすることができません。ディスプレイ表示やランプ表示を確認してください。	18
⑧	**用紙づまり** ● 本体、用紙カセット1 / 2 / 3または手差しトレイのいずれかで、用紙がつまっています。＊	20
⑨	**カセット選択** ● 点灯している用紙カセット1 / 2 / 3または手差しトレイが選択されています。＊	―
⑩	**原稿づまり** ● 原稿がつまっています。	―
⑪	**装置点検** ● 故障が発生しています。点灯したときは、当社のサービス実施会社へ連絡ください。	45
⑫	**紙づまり** ● 用紙がつまっています。用紙づまりランプを確認してください。	40～44
⑬	**トナー** ● 点灯:トナーがありません。点滅:トナーが少なくなっています。	―
⑭	**用紙補給** ● 点灯:すべてのカセットおよび手差しトレイに用紙がありません。 点滅:いずれかのカセットおよび手差しトレイに用紙がありません。	―

お知らせ

＊カセット3 のランプは、増設用紙カセット（増設給紙ユニット）をご利用時に有効です。





アクティブ表示
● コピー動作中に点滅します。

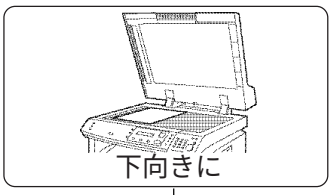
アラーム表示
本機の状態によって点灯／点滅します。
点灯：トナーなし、紙づまりなどで動作停止のとき
点滅：本機が警告状態になったとき（動作は停止しません）
● トナーの残量が少なくなったとき
● 一部の用紙カセットの紙が少なくなったとき
● 電池の交換が必要になったとき

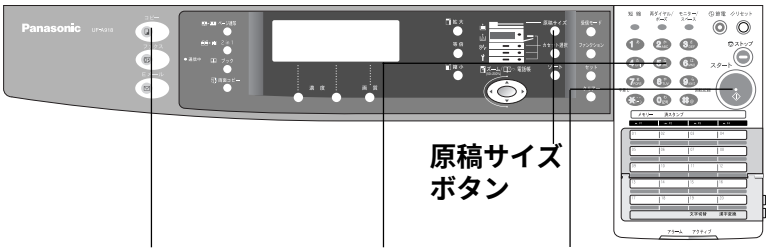
基本モード

等倍コピー（原稿台ガラス）

■ 原稿と同じ大きさでコピー

原稿サイズに合った用紙がカセットにある場合、カセットが自動的に選択されます。





1 原稿をセット

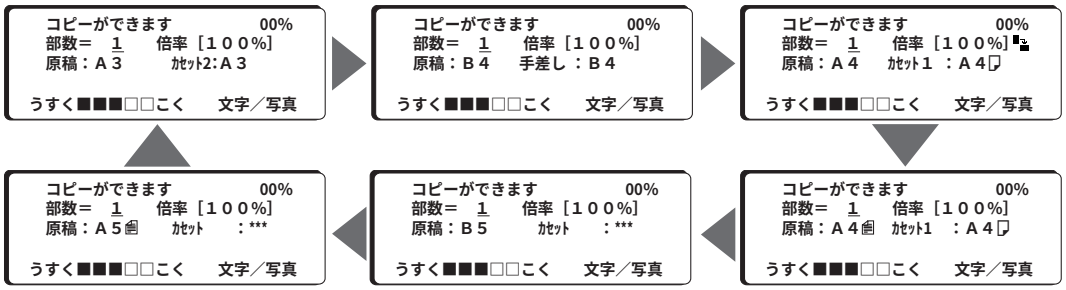
2 コピーボタンを押す

3 コピー部数（最大99部）

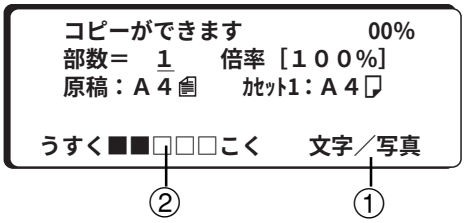
4 スタート

■ 原稿サイズを変更したいとき

サイズを読み取りにくい原稿のとき、または、原稿サイズとコピーしたい部分のサイズが異なる場合は、「原稿サイズ」ボタンを押して、原稿サイズを選択しなおしてください。
「原稿サイズ」ボタンを押すと、現在検知されているサイズからA3 、B4 、A4 、A4 ▯、B5 ▯、A5 ▯のサイクルで切り替えられます。手差しトレイにハガキがセットされているときは、A5 ▯の次に「はがき」に切り替えられます。



■ 画質や読み取り濃度を変更したいとき



① 画質を選ぶ。
文字 ：文字が主体の原稿
文字/ 写真 ：文字と写真が混在している原稿
写真 ：写真が主体の原稿

② 読み取り濃度を調整する。
うすく、または、こくボタンを押して調整する。

お 願 い

- サイズが読み取りにくい原稿、付せんやインデックスなど、はみ出した部分のある原稿、用紙の色が濃く反射率が極端に低い原稿などの場合、「原稿サイズボタン」を押して、読み取る原稿のサイズを指定してください。
- はがきサイズの原稿をはがきにコピーするときは、手差しトレイにはがきをセットしコピーしてください。(☞ 23ページ)

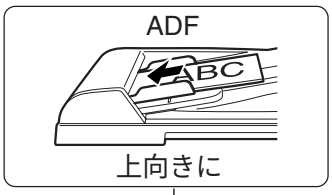
お知らせ

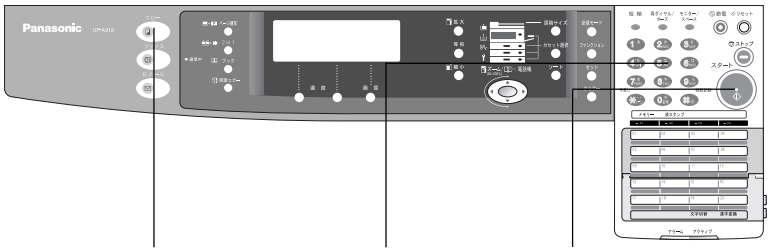
- 設定を取り消すときは、「リセット」ボタンを押してください。
- ◇（スタート）ランプが赤く点灯しているときは、用紙切れや装置異常などにより、コピーができない場合です。ディスプレイ表示（16ページ）やランプ表示（16ページ）を確認してください。コピーが可能なときは、◇（スタート）ランプが緑で点灯しています。

等倍コピー（自動原稿送り装置/ADF）

■ 原稿と同じ大きさでコピー

原稿サイズに合った用紙がカセットにある場合、カセットが自動的に選択されます。



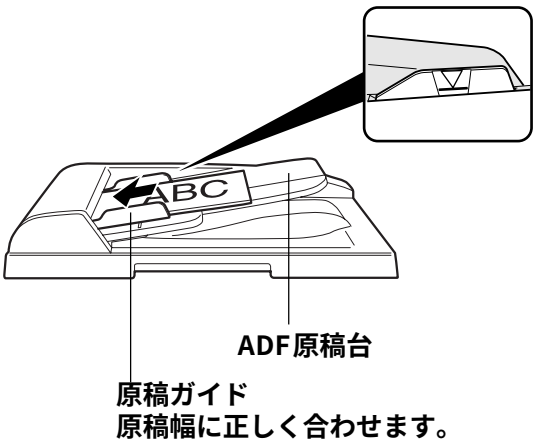


1 **原稿をセット**

2 **コピーボタンを押す**

3 **コピー部数（最大99部）**

4 **スタート**



- 原稿は、上限矢印まで!
- 一度に原稿50枚（A3/B4の場合：30枚）までセット可能
  （普通紙64 g／m^2）
  原稿サイズA3～A5

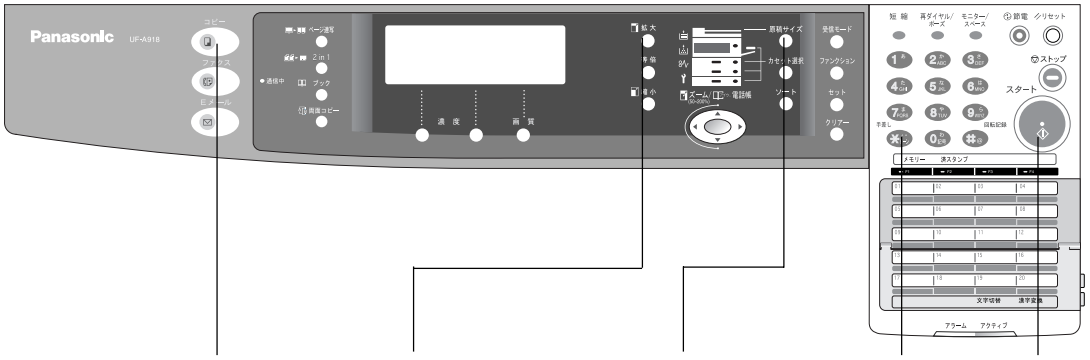
お 願 い

- ADFには、異なったサイズや紙質の原稿をいっしょにセットしないでください。
- 次の特殊な原稿は使用できません。
  はがき用紙　画用紙　OHPフィルム　半紙　ラベル用紙
  厚紙・薄紙　アート紙　フィルム　感熱紙　和紙など
- また、次のような紙は使用しないでください。
  破れ、大きな穴やとじ穴（コンピュータ用紙）のある原稿、大きくカールしたり折れのある原稿
- 裏カーボンが塗布されているカーボン紙は使用しないでください。
  コピーの汚れの原因となります。

縮小・拡大コピー

■ 固定倍率で縮小・拡大

下記の2通りの方法で固定倍率を指定し、コピーできます。



1 原稿をセット　2 コピーボタンを押す　4 縮小・拡大の倍率をセットする　(3) 原稿サイズを選択する・原稿サイズが正しく検知されなかったとき　5 コピー部数（最大99部）　6 スタート

倍率は、下記の2通りの方法でセットします。

(1)「原稿サイズ」と「用紙サイズ」を選択して、固定倍率を指定するとき
- 原稿サイズを変えるときは、「原稿サイズ」ボタンで。
- 用紙サイズを変えるときは、「カセット選択」ボタンで。

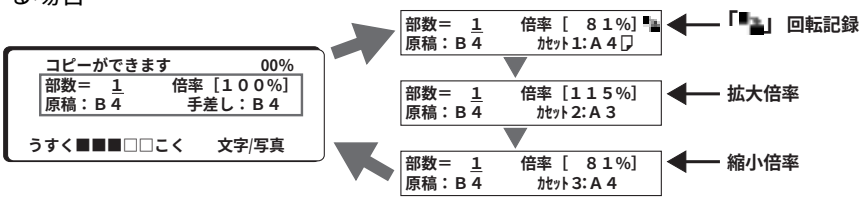
(2)「縮小」／「拡大」ボタンを使って固定倍率を指定するとき

(1)「原稿サイズ」と「用紙サイズ」を指定して、縮小または、拡大の固定倍率を決める。

■用紙サイズの切り替えについて

「カセット選択」ボタンを繰り返し押すと手差しトレイ、カセット1 / 2 / 3* のサイクルで用紙が切り替えられます。ディスプレイには用紙に対する最適な倍率が表示されます。また、原稿とカセット内の用紙の向きが異なるときは、回転記録**が適用され、「▚」が表示されます。

例：原稿サイズがB4 で用紙カセット1 にA4 、カセット2 にA3 、手差しトレイにB4 がセットされている場合



(2)「縮小」／「拡大」ボタンを使って固定倍率から選択する。(☞ 21 ページ)

お知らせ

＊　カセット3は、オプション増設カセット装着時のみ選択が有効です。

＊＊回転記録とは、原稿とカセット内の用紙の向きが異なるときは、コピーイメージがカセット内にある用紙の方向に合わせ90度回転され、用紙サイズに合わせた倍率を自動設定し、コピーする機能です。

縮小・拡大コピー

■ 各用紙にコピーするときに自動選択される倍率

原稿サイズ	用紙						
	A3	B4	A4	A4	B5	A5	はがき
A3	等倍	86%縮小	70%縮小	70%縮小	61%縮小	50%縮小	──
B4	115%拡大	等倍	81%縮小	81%縮小	70%縮小	57%縮小	──
A4	141%拡大	122%拡大	等倍	等倍	86%縮小	70%縮小	──
A4	等倍	86%縮小	等倍	等倍	86%縮小	70%縮小	──
B5	115%拡大	等倍	115%拡大	115%拡大	等倍	81%縮小	──
A5	141%拡大	122%拡大	141%拡大	141%拡大	122%拡大	等倍	──
はがき※	──	──	──	──	──	──	等倍

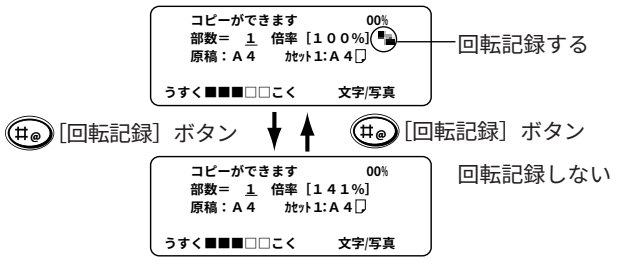
（注）: 自動的に回転記録が選択される。回転マークの無い原稿・各用紙サイズの組み合わせは、回転記録がされません。
－：設定不可
※はがきはADFにはセットできません。原稿台ガラスへのセットのみとなります。

■ 回転記録の設定について

[回転記録] ボタンを押すごとに、回転記録する／しないが切り替えられます。また、自動的に選択されるコピー倍率も切り替えられます。

●回転記録するとき　：上記の表を参照
●回転記録しないとき：上記の表を参照

例： 原稿サイズがA4で、用紙カセット1にセットしたA4 の用紙にコピーするとき



●回転記録しないときに自動的に選択されるコピー倍率

原稿サイズ（読取サイズ）	用紙						
	A3	B4	A4	A4	B5	A5	はがき
A3	等倍	86%縮小	70%縮小	等倍	86%縮小	70%縮小	──
B4	115%拡大	等倍	81%縮小	115%拡大	等倍	81%縮小	──
A4	141%拡大	122%拡大	等倍	141%拡大	122%拡大	等倍	──
A4	等倍	86%縮小	70%縮小	等倍	86%縮小	70%縮小	──
B5	115%拡大	等倍	81%縮小	115%拡大	等倍	81%縮小	──
A5	141%拡大	122%拡大	等倍	141%拡大	122%拡大	等倍	──
はがき※	──	──	──	──	──	──	等倍

（注）－：設定不可
※ はがきは回転記録できません。また、はがきサイズの原稿をはがき以外の用紙にコピーするときは、原稿サイズを変更してください。

■ 選択できるコピー倍率について

拡大 / 縮小 ボタンを使って倍率を選択します。（下記の13通り）

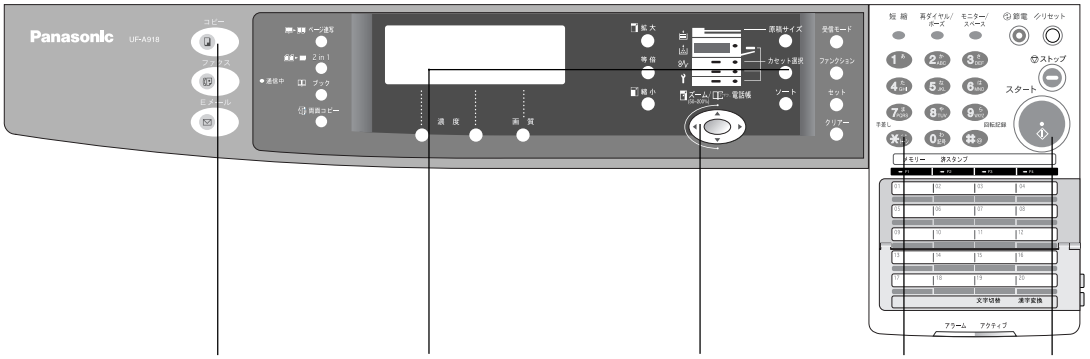
拡大 ボタン：→ 115% → 122% → 141% → 163% → 172% → 200% →
等倍 ボタン：100%
縮小 ボタン：→ 86% → 81% → 70% → 61% → 57% → 50% →

●原稿サイズが「はがき」の場合は、「100%」以外の倍率は選択できません。

ズームコピー

■ ズーム

倍率が1 %きざみで、最小50 %から最大200 %までの縮小・拡大コピーができます。



1 原稿をセット

2 コピーボタンを押す

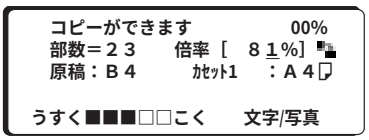
3 カセット選択ボタンで、用紙のサイズを選択する

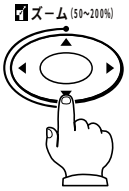
4 ◄ボタンまたは►ボタンでカーソルを倍率の位置にして、▼・▲ボタンで倍率を変える

5 コピー部数（最大99部）

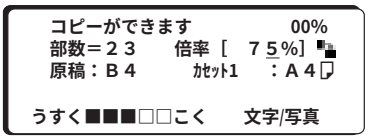
6 スタート

4 ◄ボタンまたは►ボタンを押してカーソルを倍率の位置に移動させる。

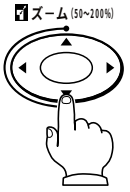




▼ボタンまたは▲ボタンを繰り返し押して倍率を変える。
A4 用紙にコピーする場合
（▼または▲ボタンを押し続けたときは、倍率が連続して変わります。）



例：B4 原稿を 75 %縮小して A4 用紙にコピーする場合



お知らせ

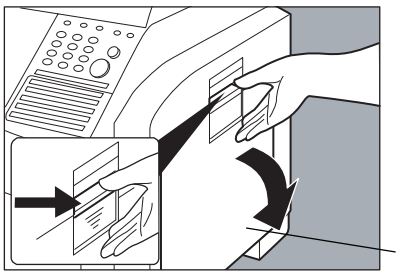
● 各モードの設定を途中でやめるときは、リセットボタンやストップボタンを押します。

手差しコピー

■ 手差しトレイからコピーするとき

手差しトレイには、A3、B4、A4、A4□、B5□、A5□サイズの用紙、およびはがきをセットできます。一度にセットできる枚数は、同じサイズ・紙質で50枚まで（官製はがきは10枚まで）です。

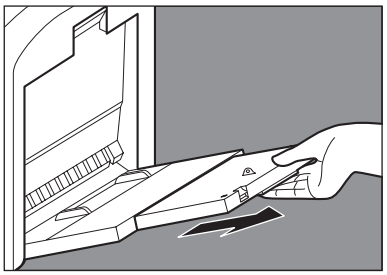
1



原稿をセット

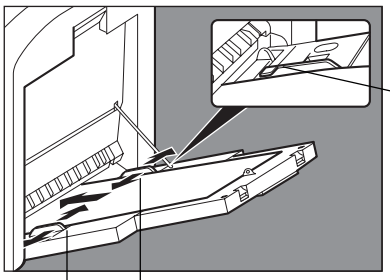
取っ手を下に押して手差しトレイを開く

2



トレイを引き出す

3



①用紙をセットする

コピーする面を下にして

ここまで

用紙が止まるまで差し込む。

②用紙ガイドを調整する

用紙の左右に正しく合わせる。

スタートボタンを押す

お　願　い

- 紙づまりの原因となりますので、そりの大きい（5mm以上）用紙は使用しないでください。
- 手差しトレイに用紙を追加するときは、残っている用紙を上にしてセットし直してください。
- はがきは、タテ送り（□）方向にセット（10枚まで）してください。
- 手差しトレイに用紙を正しくセットすると、用紙サイズが自動的に検知されます。ただし、A5□の用紙はA4サイズとして検知しますので、A5□の用紙にコピーする場合は、次の操作で用紙サイズの設定をしてください。
  ①「コピー」ボタンを押す
  ②「カセット選択」ボタンを押して「手差し」を表示する
  ③「手差し」ボタン（◎）を押す
  ④「6」[A5□]を押し「セット」ボタンを押す

お知らせ

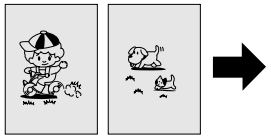
- 用紙ガイドを正しく調節しないと斜行、紙じわ、紙づまりの原因になります。
- はがきに両面コピーはできません。
- OHP用シートは「3MPP2500」/住友スリーエム社製を推奨します。

便利な使いかた

2 in 1 コピー

■2枚の原稿を自動的に縮小して、1枚の用紙にコピーすることができます。(2 in 1コピー)
原稿方向(縦/横)とレイアウト(1:2/2:1)を選択することによって、以下のような2 in 1コピーを行うことができます。

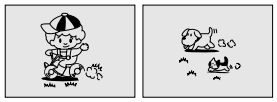
原稿方向が「縦」



レイアウト「1：2」

レイアウト「2：1」

原稿方向が「横」

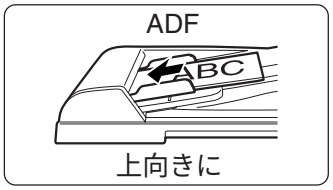


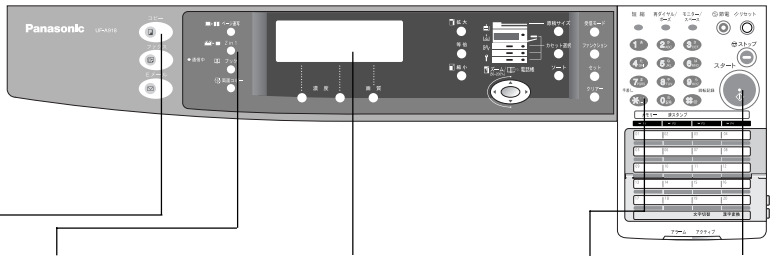
レイアウト「1：2」

レイアウト「2：1」

■ 操作手順

ADFよりコピーするとき





1 原稿をセット（ADFまたは原稿台ガラス）

2 コピーボタンを押す

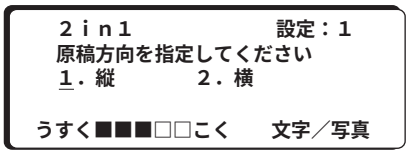
3 2 in 1 ボタンを押す

4 2 in 1の機能を選ぶ

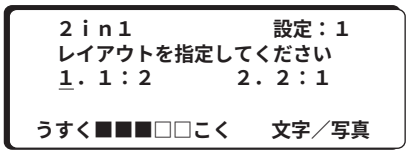
5 コピー部数

6 スタート

①原稿方向を指定する。
縦のとき、「1」「セット」を押す。
横のとき、「2」「セット」を押す。



②レイアウト方向を指定する。
1：2にするとき、「1」「セット」を押す。
2：1にするとき、「2」「セット」を押す。



原稿台ガラスよりコピーするとき

1~6 上記手順参照

7 「2」を押す

8 次の原稿をセット

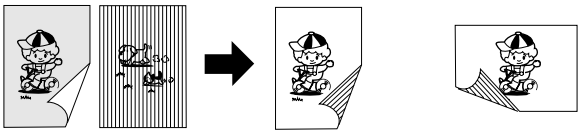
9 スタート
・2 in 1コピーが開始される

お知らせ

● 各モードの設定を途中でやめるときは、リセットボタンまたは、ストップボタンを押します。

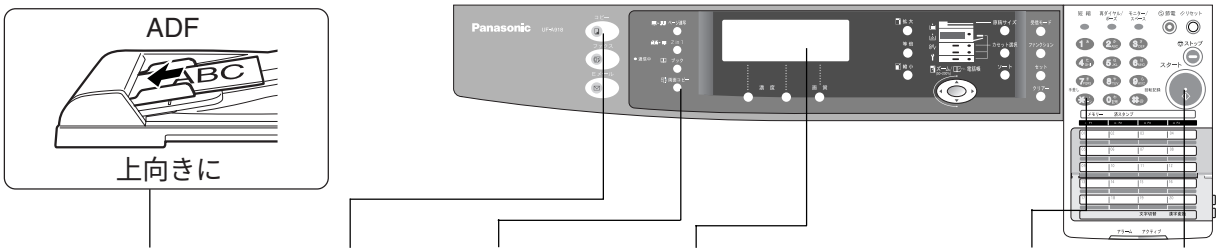
■ 両面コピー

2枚の片面原稿を1枚の両面コピー
（原稿台ガラス、ADF使用時）



■ 操作手順

ADFよりコピーするとき



1 原稿をセット（ADFまたは原稿台ガラス）

2 コピーボタンを押す

3 両面コピーボタンを押す

4 両面コピーの設定を選択

5 コピー部数（最大99部）

6 スタート

長辺とじを選択するときは「1」「セット」を押す。

両面コピー　　設定：1
1．長辺とじ　　2．短辺とじ
うすく■■■□□こく　　文字／写真

短辺とじを選択するときは「2」「セット」を押す。

両面コピー　　設定：2
1．長辺とじ　　2．短辺とじ
うすく■■■□□こく　　文字／写真

原稿台ガラスよりコピーするとき

1~6 上記手順参照

7 「2」「セット」を押す

コピー中
次の原稿の読み取り
1．しない　　2．する
うすく■■■□□こく　　文字／写真

→ **8** 次の原稿をセット

→ **9** スタート
● 両面コピーが開始される

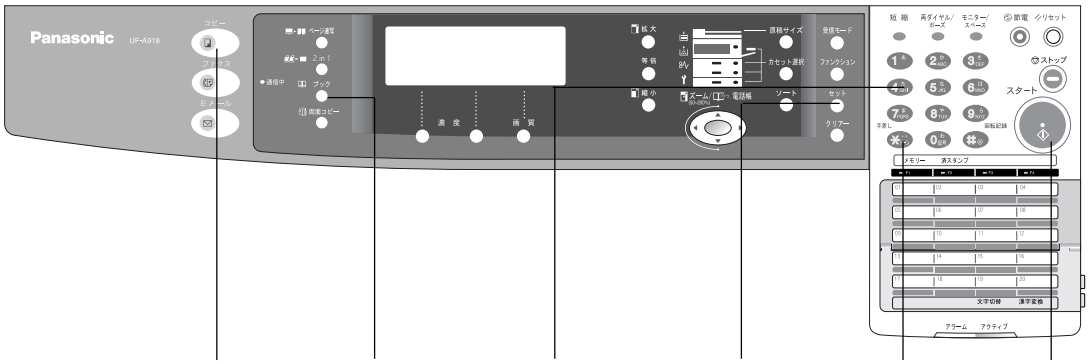
お知らせ

● 各モードの設定を途中でやめるときは、リセットボタンまたは、ストップボタンを押します。

ブックコピー

本などの見開き原稿をコピーするときに、中央の綴じてある部分が影になってコピーされるのを防ぐことができます。ブックコピーは、原稿中央部に白抜き幅を指定してコピーします。お買い上げ時は、白抜き幅が20 mmに設定されています。

■ 操作手順



1 原稿をセット　**2 コピーボタンを押す**　**3 ブックボタンを押す**　**4 白抜き幅(5〜99)を入力する**　**5 セットボタンを押す**　**6 コピー部数(最大99部)**　**7 スタート**

例：白抜き幅35 mm

```
ブック
白抜き幅を指定してください
３５mm　（５－９９）

うすく■■■□□こく　　文字／写真
```

テンキーボタンで白抜き幅を調整する。
＊工場設定値:20 mm

```
コピーができます　　００%
部数＝　１　　倍率［１００%］
原稿：Ａ４　　ｶｾｯﾄ1　：Ａ４

うすく■■■□□こく　　文字／写真
```

設定を終了するとブックボタンのランプが点灯します。

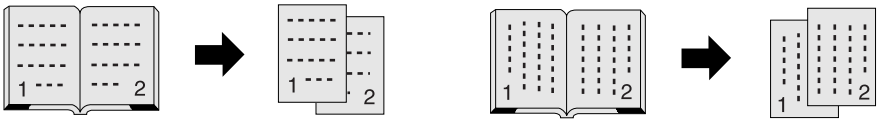
お知らせ

＊工場設定値は、機能設定モード機能により変えることができます。
(☞32ページのNo.2)

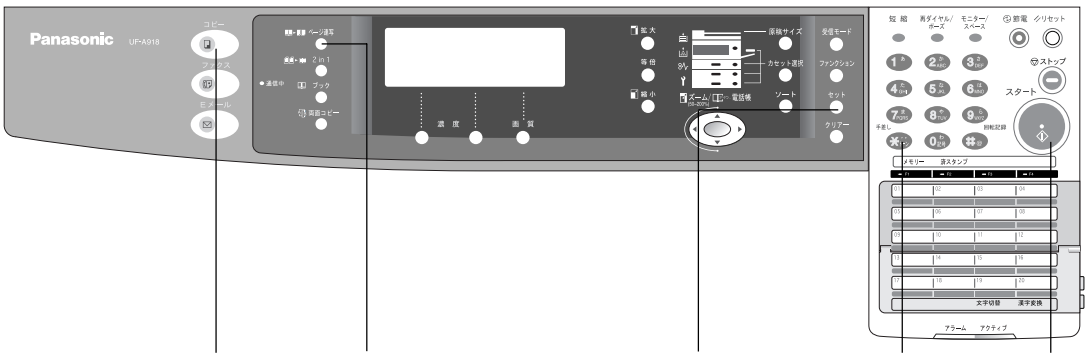
● 各モードの設定を途中でやめるときは、リセットボタンまたは、ストップボタンを押します。

■ページ連写

左右のページを左と右にわけてコピー
（原稿サイズがA3、B4、A4のとき）



■操作手順



1 **原稿をセット**

2 **コピーボタンを押す**

3 **ページ連写ボタンを押す**

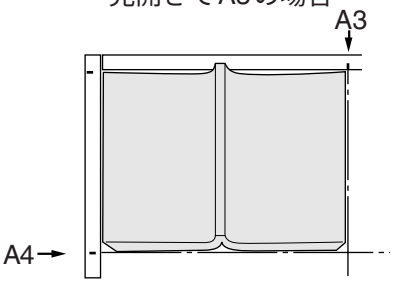
4 **ページ連写の設定を選択し、セットボタンを押す**

5 **コピー部数（最大99部）**

6 **スタート**

原稿台ガラス

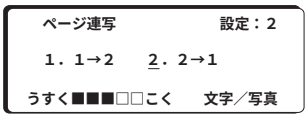
見開きでA3の場合



原稿サイズ		コピーサイズ
A3	→	A4×2枚
B4	→	B5×2枚
A4	→	A5×2枚

1 → 2: 横書きの本などをページ連写するとき

2 → 1: 縦書きの本などをページ連写するとき



● セット後、ページ連写ボタンLEDが点灯します。

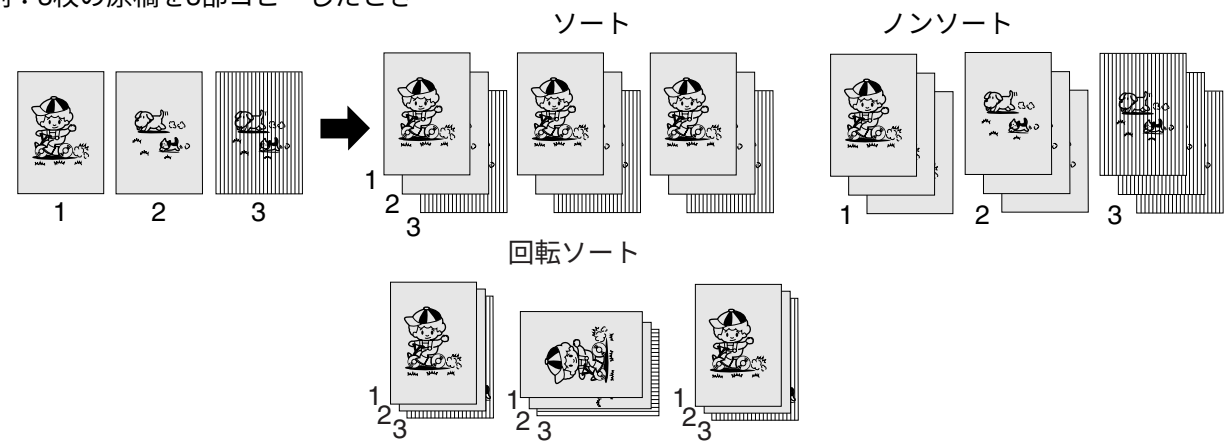
お知らせ

● 各モードの設定を途中でやめるときは、リセットボタンまたは、ストップボタンを押します。

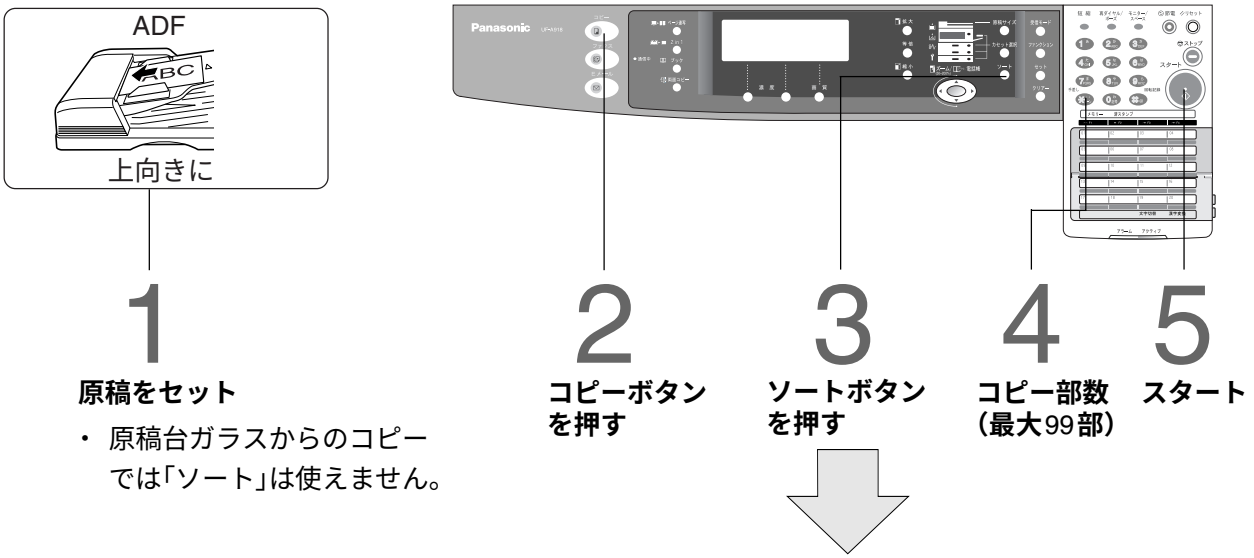
ソートコピー

複数枚の原稿を複数部コピーするときに、ソート機能で下図のように1部ずつまとめてコピーすることができます。さらに、仕分け作業も、回転ソート機能で、1部ごとにA4／A4□にタテ／ヨコ方向を変えてコピーを行うことができます。

例：3枚の原稿を3部コピーしたとき



■ 操作手順



1 原稿をセット

・ 原稿台ガラスからのコピーでは「ソート」は使えません。

2 コピーボタンを押す

3 ソートボタンを押す

4 コピー部数（最大99部）

5 スタート

■ ソートの指定 「ソート」ボタンを押下でソート機能が指定できます。

なし → ソート（回転なし） → ソート（回転あり） → なし

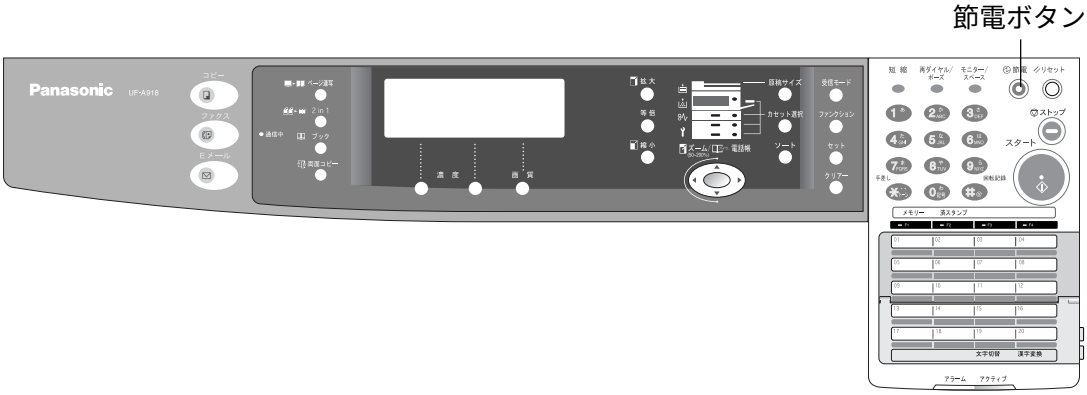
■ 回転ソートを使用するには

- ●用紙カセットまたは、手差しトレイにA4とA4□（ヨコ）の用紙サイズが必要です。
- ●コピーできる用紙にA4とA4□（ヨコ）が共にあるとき、回転ソート機能がご使用になれます。

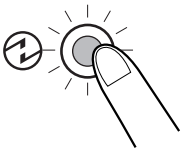
お知らせ

- ● 原稿を読み取っている最中にメモリーが一杯になったときには、“ コピー中断中　メモリーが一杯になりました ”というメッセージが表示されます。この場合、中止やプリントを選ぶ表示になります。
  「中止」を選んだとき　　：コピーが中止し、読み込んだ原稿は、消去されます。
  「プリント」を選んだとき：メッセージが表示される前までの原稿分が、コピーされます。
  追加メモリーにつきましては、サービス実施会社にご相談ください。

節電モードにより消費電力を節約できます。このモードは、「低電力モード」と「スリープモード」を選択することができます。「低電力」は、プリンタが待機状態のときにヒータをオフにします。「スリープモード」は最低限の信号監視を行う回路にのみ通電することで、極めて消費電力を少なく抑えることができます。操作パネルにある 節電 ボタンは、「スリープモード 」の状態にしたり解除するときに使います。



節電



■「低電力モード」「スリープモード」の状態にするには

別途設定された時間/時間帯に基づき、自動的に「低電力モード」または、「スリープモード」になります。

- 設定は、機能設定モードの「節電モード設定」「節電時間帯」でキーオペレーターが行えます。(31ページ)
- 「低電力モード」は、「スタート」ボタンを押した時点で自動解除されます。

■ 手動で「スリープモード」の状態にするには

「節電」ボタンを押します。

- コピー終了直後など、すぐに「スリープモード」の状態にできないときは、「節電」ランプが点滅し、「スリープモード移行中」のメッセージが表示され「スリープモード」状態待ちを示します。このとき、もう一度「節電」ボタンを押すと、「スリープモード」状態待ちは解除され、「節電」ランプは消灯します。「スリープモード」状態にできない場合、(下記の「お知らせ」参照)「節電」ボタンを押しても、拒否音が鳴り、受け付けられません。

■「スリープモード」を解除するには

「節電」ボタンを押します。

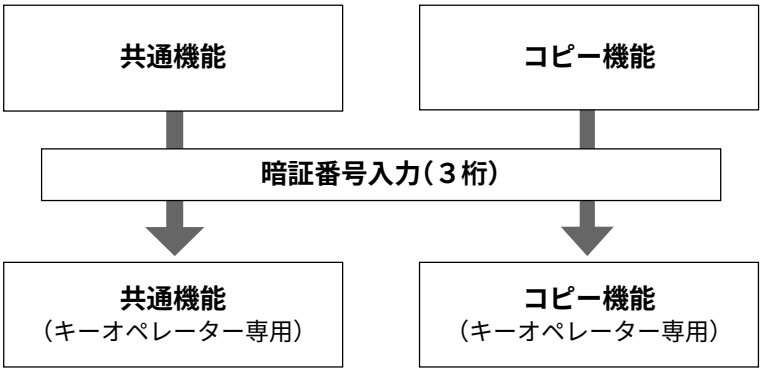
お知らせ

- 節電モードと各モードへ自動的に移行する時間は変更することができます。
  また、節電モードの開始／終了の時刻も設定して使うことができます。
- 次の場合には「スリープモード」を設定しても、「スリープモード」の状態にはなりません。
  - ・カセットの用紙がない場合など装置に異常が発生したとき
  - ・ADFに原稿があるとき
  - ・NTTファクシミリ通信網を「なし」以外に設定したとき
    (取扱説明書ファクス編参照)
  - ・着信呼出回数を「0」に設定したとき(取扱説明書ファクス編参照)
  - ・PC-FAX受信を「PC転送」または「印刷＋PC転送」に設定したとき
    (取扱説明書ファクス編参照)
  - ・オプションのG4通信ユニットまたはインターネットFAXユニットを取り付けたとき

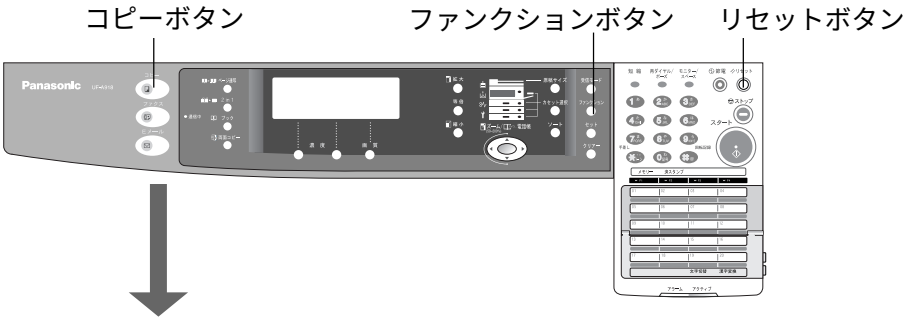
機能設定モード

■ 機能設定モードの初期設定値（デフォルト値）は、変更することができます。

機能設定は、機能毎に設定ができ、それぞれ一般ユーザー用とキーオペレーター専用の設定があります。



■ 設定手順




```
機能設定モード        （1－2）
番号入力またはV、Λ
を入力してください

うすく■■■□□こく     文字／写真
```

```
機能設定モード        （1－2）
１．共通機能
セットで選択されます

うすく■■■□□こく     文字／写真
```

```
機能設定モード        （1－2）
２．コピー機能
セットで選択されます

うすく■■■□□こく     文字／写真
```

① 「コピー」ボタンを押す。
② 「ファンクション」ボタンを押す。
③ 機能設定モード選択画面がメッセージディスプレイに表示される。
④ ▲ ▼ボタンを使用し、（1:共通機能）または、（2:コピー機能）を選び「セット」ボタンを押す。
⑤ ▲ ▼ボタンを使用し、設定したい設定モードを選び、「セット」ボタンを押す。
・設定できる内容は、下記を参照ください。
共通機能 ：☞31ページ
コピー機能：☞32ページ
⑥ 画面のメッセージにしたがって操作する。
⑦ 設定が終わったら「セット」ボタンを押す。
⑧ 「ストップ」ボタンを押して機能設定モードを解除する。

お知らせ

● 機能拡張用オプションの機能設定は、各オプションの取扱説明書をご覧ください。

共通機能

■ 機能設定モードの初期設定値(デフォルト値)は、変更することができます。

設　定　モ　ー　ド	設　定　内　容	工場設定値
0 仕上げデフォルト	ソートモード機能を次の中から一つ選ぶ ノンソート／ソート	ノンソート
2 電源投入時デフォルト	電源投入時のモードを次の中から一つ選ぶ コピー／FAX	FAX
5 ソートメモリ使用状況	ソートメモリの使用率をパネルに表示する なし／あり	なし
9 キーオペレーター専用	キーオペレーター専用画面を開くための暗証番号を入力する	

■ キーオペレーター専用

●キーオペレーター専用の設定モードは、上記設定モードで「9：キーオペレーター専用」を選択し、3桁の暗証番号を入力しないと各設定モードが表示・設定できません。

設　定　モ　ー　ド	設　定　内　容	工場設定値
00　用紙サイズ設定	次の用紙サイズの中から一つ選ぶ。* A3/B4/A4R/A4/B5/A5	A3（全カセット）
01　オートクリアタイム	オートクリアタイムを、次の中から選ぶ。 なし／30 秒／1 分／2 分／3 分／4 分	1 分
02　節電モード設定	節電のモードと時間を設定する。 なし／低電力／スリープモード 低電力タイマー:1 ～120 分 スリープモードタイマー:1 ～120 分	スリープモード 1 分(低電力タイマー) 4 分(スリープモードタイマー)
03　節電時間帯	節電モードの開始時刻と終了時刻を設定する。 開始時刻～終了時刻	(未設定)
10　原稿セット音の設定	原稿台ガラスに原稿をセットしたときに音を出すか、出さないかを選ぶ。 なし／あり	なし
11　ADFセット音の設定	原稿をADF にセットしたときにセット音を出すか、出さないかを選ぶ。 なし／あり	あり
25　コピー設定リスト	機能設定モードで設定した内容をリストにてプリントする	

コピー機能

■ 機能設定モードの初期設定値（デフォルト値）は、変更することができます。

設　定　モ　ー　ド	設　定　内　容	工場設定値
2　ブックデフォルト値	ブック白抜き幅を、次の中から一つ選ぶ。 15 mm/20 mm/25 mm/30 mm	20 mm
9　キーオペレーター専用	キーオペレーター専用画面を開くための暗証番号を入力する。	

■ キーオペレーター専用

●キーオペレーター専用の設定モードは、上記設定モードで「9：キーオペレーター専用」を選択し、3桁の暗証番号を入力しないと各設定モードが表示・設定できません。

設　定　モ　ー　ド	設　定　内　容	工場設定値
01　画質デフォルト	原稿モードについて、次の中から一つを選ぶ。 文字／文字写真／写真	文字写真
02　濃度デフォルト（文字）	文字原稿のコントラストを、次の中から選ぶ。 1～5	3
03　濃度デフォルト（文字写真）	文字写真原稿のコントラストを、次の中から選ぶ。 1～5	3
04　濃度デフォルト（写真）	写真原稿のコントラストを、次の中から選ぶ。 1～5	3
16　メモリーフル時の電子ソート継続	メモリーフル時の電子ソートを継続するかしないかを設定する 印刷／中断	印刷

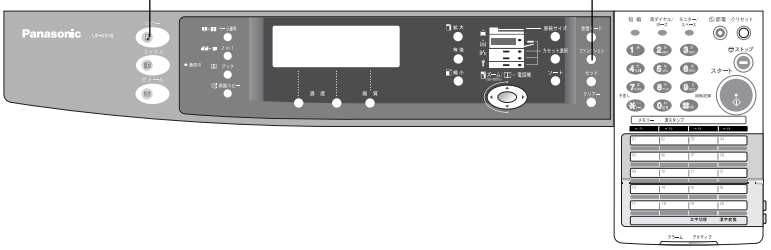
機能設定のしかた(例1)／一般ユーザー

■ ブックデフォルトを変更する

ブック白抜き幅を設定することができる。

1

①「コピー」ボタンを押す　　②「ファンクション」ボタンを押す



2 画面のメッセージにしたがって操作する。

```
機能設定モード        (1－2)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

①▲ ▼ボタンを使用し、コピー機能を選び、「セット」ボタンを押す。

```
コピー機能            (2－9)
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

②▲ ▼ボタンを使用し、「2:ブックデフォルト値」を選ぶ。

```
コピー機能            (2－9)
2．ブックデフォルト値
セットで選択されます

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

③「セット」ボタンを押す。

```
ブックデフォルト値    設定：2
1．15mm  2．20mm
3．25mm  4．30mm
うすく■■■□□こく    文字／写真
```

④「1」または、「2」、「3」、「4」ボタンでブック白抜き幅を選び、「セット」ボタンを押す。

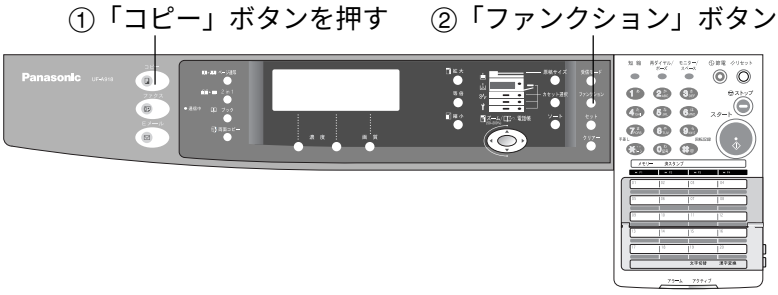
⑤「ストップ」ボタンを押し、機能設定モードを解除する。

機能設定のしかた（例2）／キーオペレーター専用

■ 用紙サイズを変更する

用紙カセットの用紙サイズは、固定されていますが、A3・B4・A4・B5・A5のいずれかに切り替えることができます。下記の手順で、用紙サイズを変更してください。

1



2 画面のメッセージにしたがって操作する。

①▲ ▼ボタンを使用し、共通機能を選択し、「セット」ボタンを押す。

```
機能設定モード        (1－2)
1．共通機能
セットで選択されます

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

②「9」を押し「9：キーオペレーター専用」を選び、「セット」ボタンを押す。

```
共通機能              (0－9)
9．キーオペレータ専用
セットで選択されます

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

③暗証番号（3桁）を入力して「セット」ボタンを押す。

```
キーオペレータ専用
パスワードを指定してください
＊＊＊  (3桁)

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

④「0」「0」を押して「00：用紙サイズ設定」を選び、「セット」ボタンを押す。

```
共通機能              (00－11)
００．用紙サイズ設定
セットで選択されます

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

⑤手差し、カセット1、カセット2、カセット3の順番に紙サイズを設定する。（カセット3は、オプションの増設給紙ユニット装着時のみ有効）

```
手差し（1－7）        設定：1
1．A3  2．B4  3．A4
4．A4□ 5．B5□ 6．A5□

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

▼ 数字ボタンで用紙サイズを選び「セット」ボタンを押す。

```
カセット1             設定：3
1．A3  2．B4  3．A4
4．A4□ 5．B5□ 6．A5□

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

▼ 数字ボタンで用紙サイズを選び「セット」ボタンを押す。

```
カセット2             設定：2
1．A3  2．B4  3．A4
4．A4□ 5．B5□ 6．A5□

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

▼ 数字ボタンで用紙サイズを選び「セット」ボタンを押す。

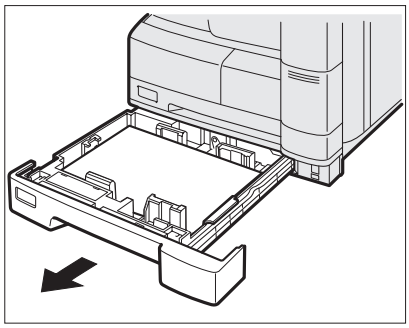
```
カセット3             設定：1
1．A3  2．B4  3．A4
4．A4□ 5．B5□ 6．A5□

うすく■■■□□こく    文字／写真
```

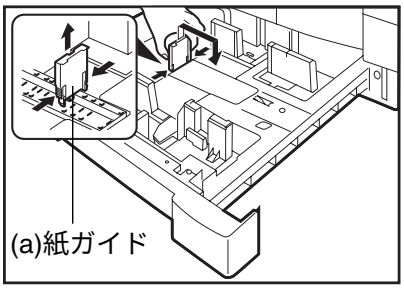
数字ボタンで用紙サイズを選び「セット」ボタンを押す。

⑥「ストップ」ボタンを押し、機能設定モードを解除する。

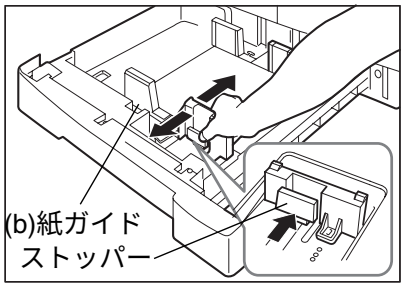
3 用紙カセットの紙ガイドと紙サイズ表示を変更する。



①紙サイズを変更したい用紙カセットを引き出す。

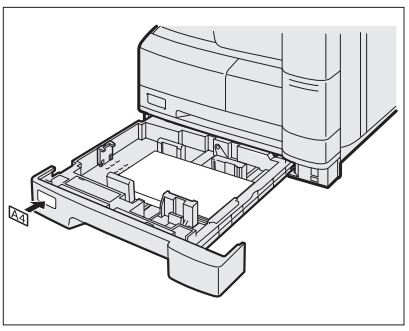


②紙ガイド(a)を用紙長さに合わせる。



③紙ガイド(b)を用紙幅に合わせる。
ストッパーをつかみ、紙ガイド(b)をスライドさせ用紙幅に合わせる。

(注)「お知らせ」を参照



④紙サイズ表示を貼り替える。

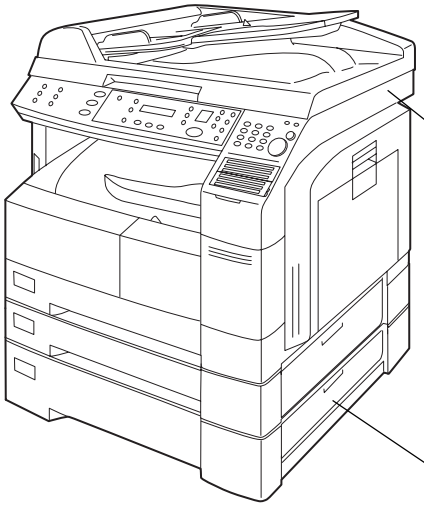
⑤用紙カセットを挿入する。

お知らせ

- 紙ガイド(b)は、カセット内部にある3コのビスで固定しておかれることをお奨めします。ビスの固定方法については、サービス実施会社にご相談ください。

便利なオプション

システム構成



ソートメモリーボード
（品番：DA-SM08B/16B/28B）
●8/16/128MB

増設給紙ユニット
（品番：UE-409077）
●用紙カセットを増やしたいとき

■拡張オプション＊

インターネットFAXユニット	UE-404083
ファクスG4通信ユニット	UE-407025
ファクス用増設メモリーカード 2MB	UE-410046
ファクス増設メモリーカード 4MB	UE-410047
ファクスハンドセット	UE-403178
2段用専用台	UE-401011
3段用専用台	UE-401012

お知らせ

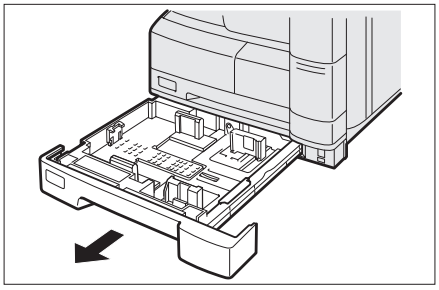
＊操作説明は、各拡張オプションの取扱説明書をご覧ください。

コピーができないとき

用紙を補給(J)

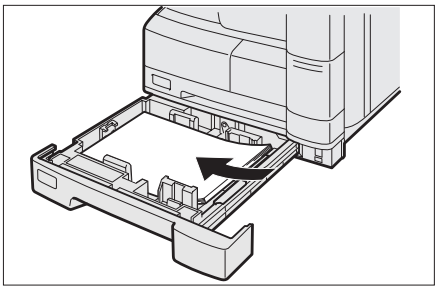
■ 250枚用紙カセット

1



用紙カセットを引き出す

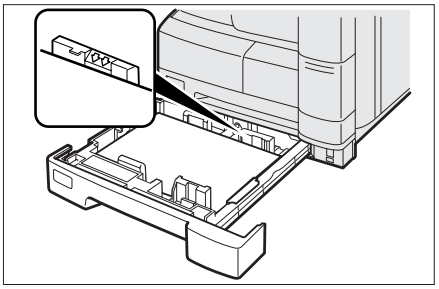
2



コピーする面を上にして用紙を入れる

用紙の四隅をきちんとそろえる。

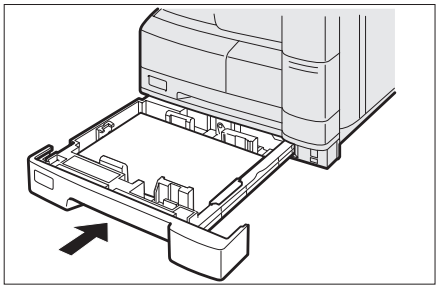
3



用紙は上限矢印まで！

当社推奨紙にて、250枚まで。

4



用紙カセットを奥に突き当たるまで確実に押し込む

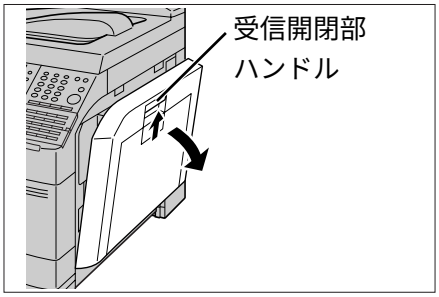
お 願 い

- 紙折れ、しわなどない紙を入れてください。
  用紙カセットの用紙サイズを変更するときは、34と35ページをご参照ください。
- 残った用紙は、必ず、袋に入れ、口を閉じて保管してください。
  そのまま放置するとカールや紙づまり、紙じわ、画質低下の原因となります。
  故障の原因となります。

プロセスカートリッジを交換(?)

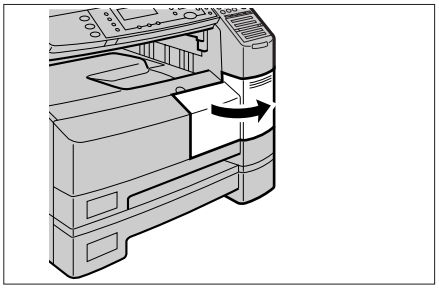
■ トナーがなくなると、トナー補給ランプが点灯し、ディスプレイに「カートリッジを交換してください」と表示されます。以下の手順でプロセスカートリッジを交換してください。

1



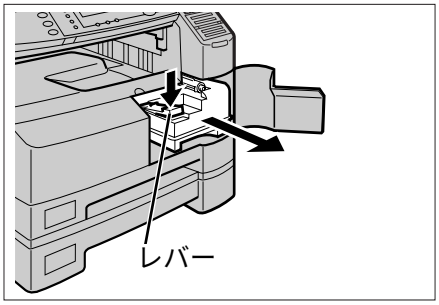
受信開閉部ハンドルを持ち上げて、静かに受信開閉部を開ける

2



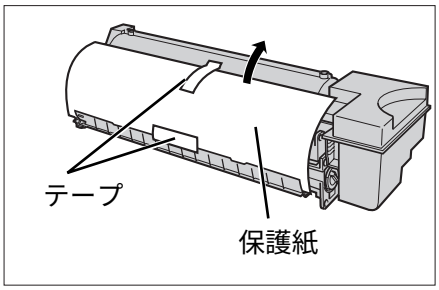
正面ドアカバーを開ける

3



プロセスカートリッジのレバー（緑色）を押しながら、プロセスカートリッジを静かに引き抜く

4



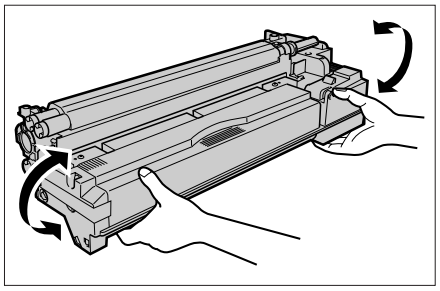
新しいプロセスカートリッジの 2 か所のテープをはがし、保護紙を取る

お 願 い

■ プロセスカートリッジ回収のお願い
本商品のプロセスカートリッジについては、リサイクルを実施しております。
使用済みのプロセスカートリッジを梱包箱に納めて、回収にご協力をお願いいたします。
詳しくは、プロセスカートリッジ梱包箱の説明をご覧ください。

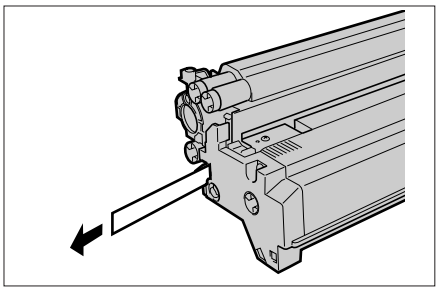
- プロセスカートリッジは、当社指定品をご使用ください。
- プロセスカートリッジの交換・回収について、ご不明な点は、当社のサービス実施会社へお問い合わせください。

5



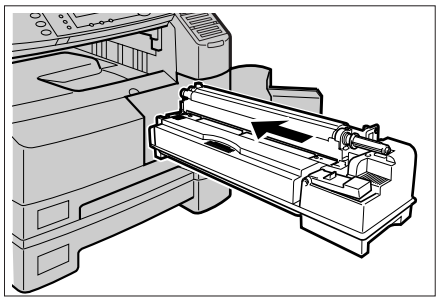
新しいプロセスカートリッジを5 〜6 回振る

6



側面のシールを抜き取る

7



プロセスカートリッジを持ち、静かにスライドさせ「カチッ」と音がするまで奥に押し込む

プロセスカートリッジのレバー(緑色)がロックされていることを確認する。

8

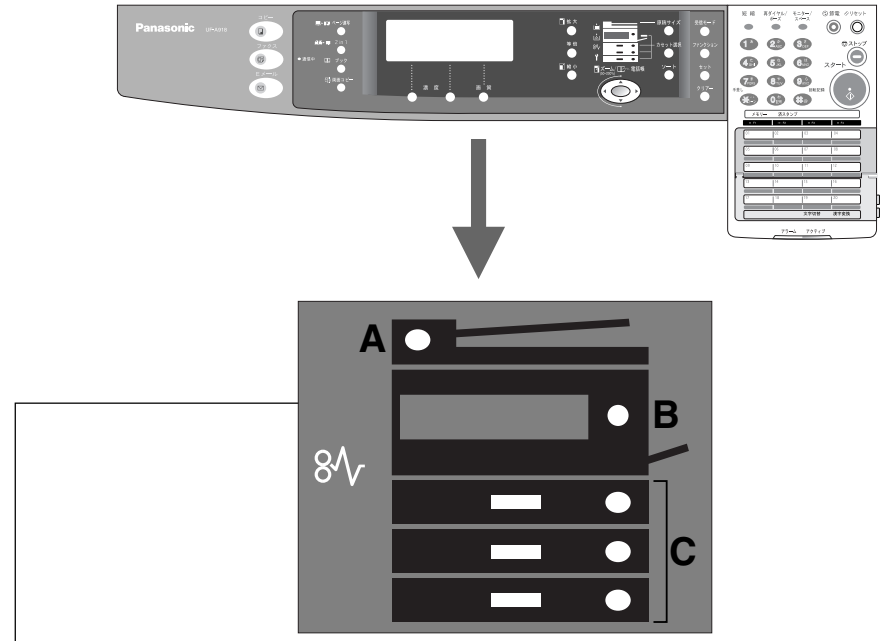
正面ドアカバーを閉め、受信開閉部を確実に閉める

お 願 い

- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。
  完全に閉まっていないと、コピーができません。

紙づまりを取り出す

■紙づまりのときは､紙づまり表示と紙づまり位置がディスプレイに表示されます。

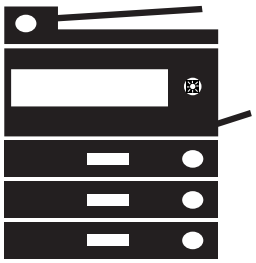


紙づまり位置と表示

	ADF	A：ADF（☞44ページ）
▌	**本体 および 増設給紙ユニット**	B：排紙部･搬送部･給紙部（☞41, 42ページ） C：増設給紙ユニット（☞43ページ）

お知らせ

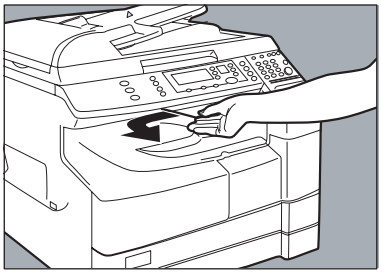
- 紙づまりを取り出したあと､紙づまり表示が消えたことを確認してください｡紙づまりがまだ機内に残っていると表示は消えません｡再度点検して完全に取り除いてください。



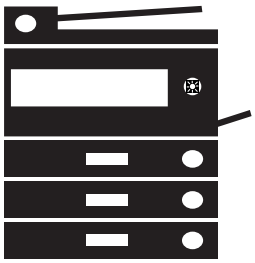
■ 排紙部

●紙づまりを取り出した後、左記の紙づまり表示が消えたことを確認する。

1



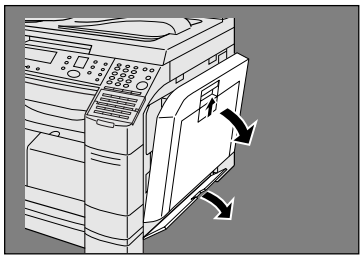
紙づまりを取り出す。



■搬送部 / 給紙部

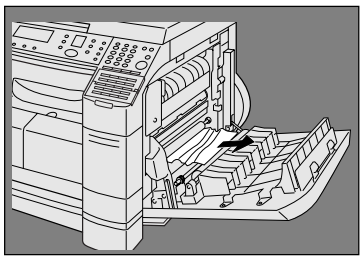
●紙づまりを取り出した後、左記の紙づまり表示が消えたことを確認する。

1



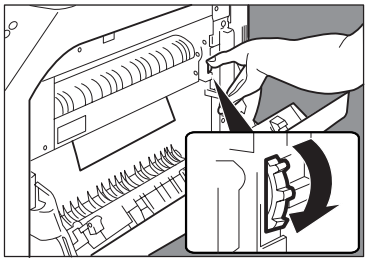
受信開閉部とサイドカバーを開ける

2



紙づまりを取り出す

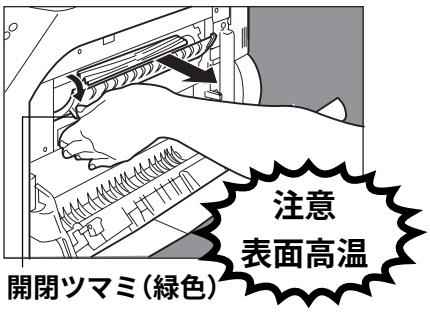
3



万一コピー用紙が本体の奥まで入っているときは

①右側のノブを回す
②紙づまりを取りだす

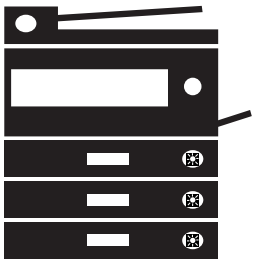
4



①開閉ツマミ(緑色)を持ち、定着部開閉カバーを開ける
②紙づまりを取りだす
③カバーを閉める
④受信開閉部とサイドカバーを閉じる。

注意:定着部分は高温

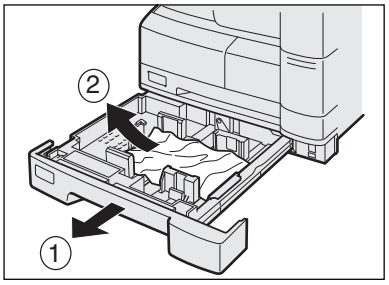
●開閉ツマミ部以外のカバー部、カバー内部のローラー等には触れないよう、注意してつまった紙を取り除いてください。



■給紙ユニット

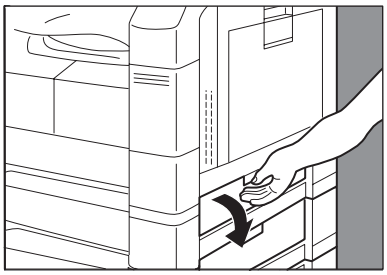
●紙づまりを取り出した後、紙づまり表示が消えたことを確認する。

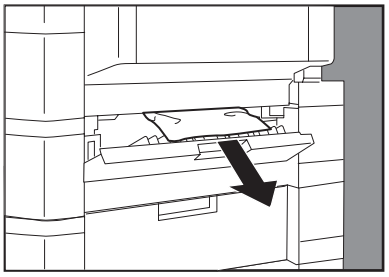
1



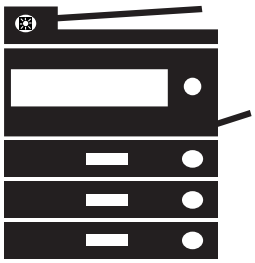
①用紙カセットを引き出す。
②紙づまりを取り出す。
③用紙カセットを元の位置に戻す。

2





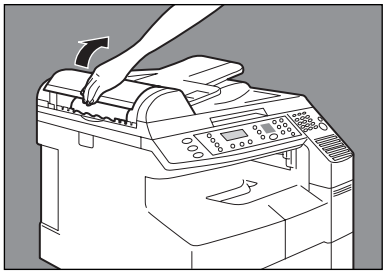
①サイドカバーを開ける。
②紙づまりを取り出す。
③サイドカバーを閉じる。

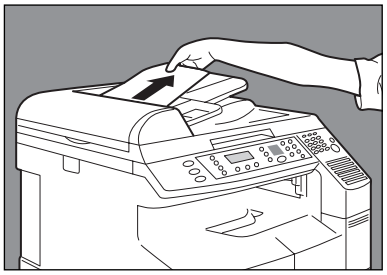


■ADF

●紙づまりを取り出した後､左記の紙づまり表示が消えたことを確認する。

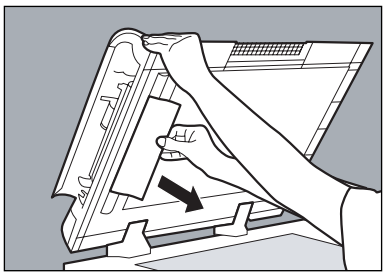
1





①送信開閉部を開ける。
②紙づまりを取り出す。

2

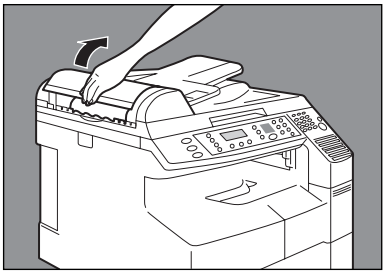


①原稿台カバーを開ける。
②紙づまりを取り出す。
③原稿台カバーを閉める。
④送信開閉部を閉める。

■自動給紙圧の調整

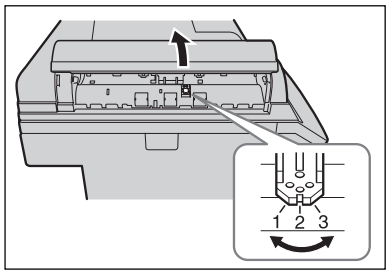
原稿が繰り込まれなかったときや、重なって繰り込まれるときは、送信開閉部を開けて、自動給紙圧を調整してください。

1

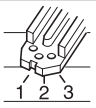
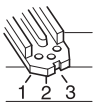


送信開閉部を開ける。

2



紙圧調整スイッチ(緑色)を左右に動かして調整します。

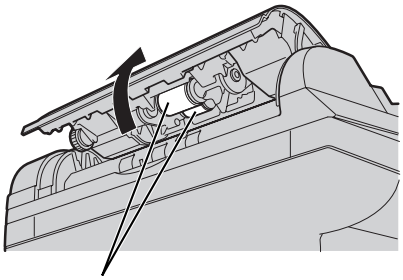
こんなときには	スイッチの位置
原稿が繰り込まれない	
標準位置 (通常はここにしておきます)	
2枚以上の原稿が同時に繰り込まれる	

3

送信開口部を開ける。

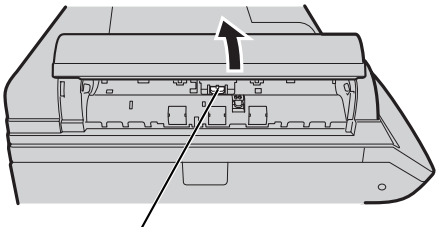
お知らせ

● 給紙圧調整しても、原稿が繰り込まれない場合



送信開閉部を静かに開け、大小2つのローラを清掃します。

● 給紙圧調整しても、2枚以上の原稿が繰り込まれる場合



送信開閉部を静かに開け、セパレータを清掃します。

こんなときには

故障かな？と思ったら

■機械の不具合点や操作上の指示は、コントロールパネルのメッセージディスプレイに表示されます。メッセージをよくご確認のうえ適切に対処してください。

確　認	処　置

機械が作動しない

ディスプレイに何も表示されない	電源スイッチおよびプラグを点検する。
節電ランプが点滅（または点灯）している （☞29ページ）	節電ボタンを押す。
ディスプレイにU××表示およびメッセージが出ているか （U0, U6, U7,U8…など）	メッセージに従って処置する。
ディスプレイに用紙補給表示およびメッセージが出ているか（**J**）	用紙を補給する。（☞37ページ）
ディスプレイに紙づまり表示およびメッセージが出ているか（**I**）	紙づまりを取り除く。（☞40ページ）
ディスプレイに E×-×× 表示およびメッセージが出ているか	電源を切／入する。表示やメッセージが消えないときは、数字を確認（メモ）して電源を切り（または、電源プラグを抜いて）サービス依頼をする。
ディスプレイに電池交換メッセージがでているか	電池交換をする。 取扱説明書（☞48ページ）

確　認	処　置

コピーがうすい

コピー濃度が「うすい」になっていないか	➡	コピー濃度調整キーで「こく」にする。 (☞18ページ)
ディスプレイにプロセスカートリッジ交換表示およびメッセージが出ているか（**?**）	➡	プロセスカートリッジを交換する。 （サービス実施会社にご連絡ください）

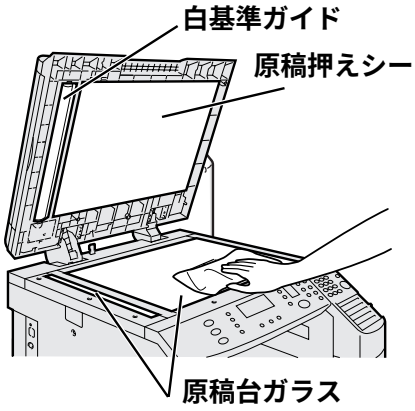
汚れたコピーがでる

原稿台ガラス面または原稿押えシート、白基準ガイドが汚れていないか	➡	清掃する。 （下記参照）
OHPシート、第2原図などの透明度の高い原稿をコピーしていませんか	➡	原稿を白紙でカバーをしてコピーする。

■ 以上の点検を行っても症状がなおらないときは、サービス依頼をしてください。

日常のお手入れ

■一週間に一度程度クリーニングしてください。



〈原稿押えシート、白基準ガイドまたは原稿台ガラス〉

● 薄めた台所用洗剤（中性）をふくませ固くしぼった布で汚れを落し乾拭きしてください。

電池の交換

本機には停電時に日付設定を保持するための電池（品番;CR2032 ）が内蔵されています。

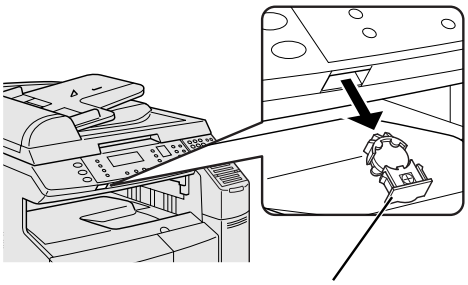
■電池交換要求メッセージ

電池交換が必要になると下記のメッセージがパネル上に表示され、コントロールパネルのアラーム表示ＬＥＤが点滅します。（☞17ページ）

［電池を交換してください U90］（ファクスモード時）

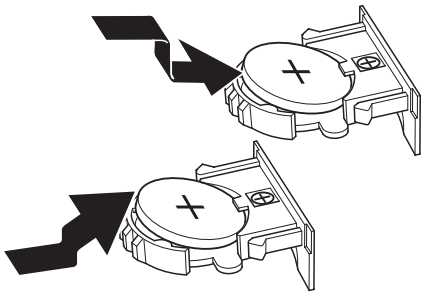
■電池の交換手順

1



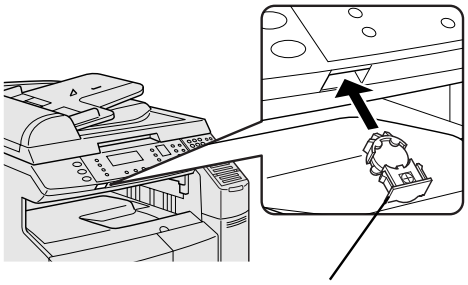
電源を切る
電池ホルダーを引き出す

2



電池を交換する
（品番：CR2032）

3



電池ホルダーを戻す

4

電源を入れる
日付・時刻を設定する
（取扱説明書（ファクス編）を参照ください。）

お知らせ

●電池の寿命は本機の電源が切れた状態で約1 年です。
本機の電源が入っていれば、電池は消耗しません。

仕　様

■UF-A918（コピー部）

形　　式	卓上型
原稿台方式	固定
複写原稿	シート・ブック（最大A3）
複写方式	レーザー間接静電方式
定着方式	ヒートローラ定着方式
現像方式	乾式1成分現像方式
解像度	600 dpi
操作表示方式	液晶ディスプレイ
複写サイズ	A3、B4、A4、A4□、B5□、A5□、 はがき（はがきは手差しトレイ）
画像欠け幅	5.0 mm以内（周囲）
ウォームアップタイム	約30秒（20°C）
ファーストコピー	6.5秒台（A4□、上段カセットより）
連続複写速度	A4：18枚／分
複写倍率	等倍：1：1 拡大：2.00／1.72／1.63／1.41／1.22／1.15 縮小：0.86／0.81／0.70／0.61／0.57／0.50 ズーム：50～200 %（1 %単位）
給紙方式	用紙カセット（250枚×2）＋手差しトレイ（50枚） 増設給紙ユニット（オプション）
用紙厚	60～90 g／m^2（手差しトレイ：55～130 g／m^2）
連続複写枚数	最大99枚
電源	AC 100 V、 50／60 Hz
消費電力	最大1.1 kW、 スリープモード時 1.3 Wh（ヒータースイッチ「OFF」時）、 11.3 Wh（ヒータースイッチ「ON」時） 低電力モード時 24.0 Wh（ヒータースイッチ「OFF 」時）、 35.0 Wh（ヒータースイッチ「ON 」時） 10 W（電源スイッチ「OFF」、ヒータースイッチ「ON時」）
寸法（幅×奥行×高さ）	588×605×565 mm
質量	46 kg（本体部）
使用環境	温度：10°C～30°C　湿度：30 %～80 % （ただし、温度30°Cのときは湿度70 %以下、湿度80 %のときは温度27°C以下）

● 製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

消耗品

消耗品

■ 消耗品

プロセスカートリッジ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ DE-1005

済スタンプ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UG-4105

用紙（注1）

A3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UG-0601A3
B4 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UG-0601B4
A4 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UG-0601A4
B5 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UG-0601B5
A5 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UG-0601A5

用紙（再生紙）（注1）

A3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UG-0611A3
B4 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UG-0611B4
A4 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UG-0611A4
B5 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UG-0611B5

（注1） 当社推奨品です。

アフターサービスについて

1 保証書（別に添付してあります。）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間－お買い上げ日から本体 1 年間

2 修理を依頼されるとき

46ページの「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いておいてから、お買い上げの販売店または、サービス実施会社に修理をご依頼ください。

■ 保証期間中は

保証書の規定に従ってサービス実施会社が出張修理させていただきます。

連絡していただきたい内容
●ご住所・ご氏名・電話番号
●製品名・品番・お買い上げ日
●故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
●訪問ご希望日

■ 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店または、サービス実施会社へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

3 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、最低5年間保有しております。

4 アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

コピー動作組み合わせ

■ 各機能の組み合わせは下表の通りです。

最初の機能指定 ＼ あとの機能指定	ページ連写	2 in 1	ブック	両面コピー	ズーム	ノンソート	ソート
ページ連写		A 注1	○ 注1	○ 注1	○ 注1	○ 注1	―
2 in 1	A 注1		○ 注1	○	○	○	○ 注2
ブック	○ 注1	○ 注1		○ 注1	○ 注1	○ 注1	―
両面コピー	○ 注1	○	○ 注1		○	○	○ 注2
ズーム	※	※	※	※		○	○ 注2
ノンソート	○ 注1	○	○ 注1	○	○		A 注2
ソート	―	○ 注2	―	○ 注2	○ 注2	A 注2	

○　：組み合わせて使用できます。
A　：あとの機能指定が実行されます。
※　：ズームはいったんキャンセルされます。
―　：指定は拒否されます。
注1：原稿が原稿台ガラスにあるときのみ組み合わせて使用できます。
注2：原稿がADFにあるときのみ組み合わせて使用できます。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ年月日	年　　月　　日	品番　UF-A918
販売店名	☎　(　　)　　-	
サービス実施会社名	☎　(　　)　　-	

松下電器産業株式会社
松下電送システム株式会社

DZSD001671-1
S0402-1032